- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人 十文字学園

- (2) 大 学 名 十文字学園女子大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() 書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。
- (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副 学 長 兼 学長補佐	^(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月) (オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月) (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学 部 長 兼 学 科 長	【教育人文学部】く幼児教育学科>(ヤマダ ヨウコ)山田 陽子(令和2年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)令和4年度に報告する内容 → (4)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を 確認してください)。
 - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時		学生募集の停	備考	
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	止について)用 <i>1</i> 5		
教育人文学部				年次			
幼児教育学科	教育学・保育	4	170		000		
学士 (教育学)	学関係	4	170	-	680		
		年	人	人	人		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均入学定員		備	考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	学 その他の学問 春季入学 その他の学問 春季入学 その他の学問 春季入学 その他の学		春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	VĦ	77
A 入学定員	<u> </u>	<u> </u>	170人 — 人	170人 — 人 170	170人 — 人				
717,250			(一) [若干名]	(一) [若干名]	│ (一) │ [若干名]				
			336 —	243 —	209 —				
志願者数	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)				
	[-][-]	[-][-]	[0][-]	[0][-]	[0][0]				
			317 —	226 —	190 —				
受験者数	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	0.87倍	倍		
			[0][—]	[0] [—]	[0][—]				
合格者数			255 —	222 —	187 —				
			175 —	146 —	126 —				
B 入学者数	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)				
	[-][-]	[-][-]	[0][-]	[0][-]	[0][-]				
入学定員超過率 B/A	_	_	1. 02	0. 85	0. 74				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出 してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0年度	令和え	元 年度	令和:	2 年度	令和(3年度	令和 4	4年度	/i		考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	ונד	Ħ	1 5
			$\overline{}$			175	_	146	_	126	_			
	1 年次					[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]			
						(—)	(-)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	2 年次							174		145	,			
	2 年次	/						[0]	(—)	[0]	(-)			
										166	_			
	3 年次									[0]	[-]			
	4 年次													
						1	75	32	20	34	17			
	計	[]]]	[()]	[()]	[()]			
		()	()	(-	_)	(-	_)	(-	_)			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「-」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由 (留学生の理由は「]書き)
対象年度			入学した年度	<i>1</i> 25.7	うち留学生数	(田子工の柱田は[」書で)
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	J	.	平成30年度	人	人	
节和九千茂	^	^	令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	175 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	転学科(1)
			平成30年度	人	人	
令和3年度	320 人	9 人	令和元年度	人	Д	
			令和2年度	8 人	0 人	除籍(2), 就職(2), 他の教育機関への入学(1), 学生個人 の心身に関する事情(1), その他(1)
			令和3年度	1 人	0 人	就職(1)
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	347 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		10 人		10 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- =		0	=	#DIV/0!	%
【令和元年度】						
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- =		0	=	#DIV/0!	%
【令和2年度】						
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- =	17	<u>1</u> 75	=	0.57	%
【令和3年度】						
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	- =	32	<u>9</u> 20	=	2.81	%
【令和4年度】						
令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b)	- =	34	<u>0</u> 17	=	0	%

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<教育人文学部 幼児教育学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

特別				肖	单位数	数	専	壬教	員等	の酉	置5	兼任
大通報告		授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	
大通科目				修	択	由	授	授	師	教	手	担
共通科目 1.2.3.4後 2 1.2.3.4後 2 1.2.3.46 2 1.2.3.46 2 1 3 3 3 3 3 3 6 人間関係とコミュニケーションジを後と3・4前・4前・2 2 1		入門ゼミナール	1前	2			5	3	1	1		
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	共ゼ	コミュニケーション演習	1前•後	1								6
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	通サー	読書入門ゼミナール	1·2·3·4後		2							17
世域で学ぶ	日ル	課題解決ゼミナール	2·3 前•後		2							2
世域で学か 前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		総合ゼミナール	3·4 前•後		2							2
世域と人間関係とコミュニケーション 後 1・2・3・4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		地域で学ぶ			2							3
 通報合目 総合科目 総合科目 自主社会活動 おかけののと身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる 対のかの女性 芸術を読みとる 対応後 プローバル社会 対応後 対応後 対応後 対応後 対応後 対応後 対応後 対応を建せる生きる 対応を持ちる 対応を表示を読みとる 対応後 対応を表示を読みとる 対応後 対応後 対応を表示を読みとる 対応後 対応後 対応を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を		地域と人間生活			2							6
目	通総				2		1					1
#85百十日 前・後 12・3・4 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2・3・4 1 1 2・3・4 1 1 2・3・4 1 1 2・3・4 1 1 2・3・4 1 1 1 2・3・4 1 1 1 2・3・4 1 1 1 2・3・4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		人間理解ワークショップ		2			1					3
日主 社 芸 応 切		総合科目			2							1
1		自主社会活動			1							2
ジェンダーリテラシー 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1前•後		2							2
女性と健康 1前・後 2 1 1 女性と健康 1前・後 2 1 1 女性と健康 1前・後 2 2 女性の心と身体 後 2 1 食の科学 2・3 前・後 2 1 歴史のなかの女性 2・3 前・後 2 1 芸術を読みとる 2・3 前・後 2 1 オットワーク社会 1前・後 2 1 共生社会入門 1前・後 2 1 女様性と倫理 1前・後 2 1 持続可能な社会 1市・後 2 1 たらしのなかの日本国憲法 1・2・3 前・後 2 1 災害と社会 2・3 前・後 2 1 災害と社会 2・3 前・後 2 1 工世紀型の教育 2・3 前・後 2 1 共保健和科体 身体運動工 1・2・3・4 1 1 1 1 持額処理演習工 1前 1 1 1 1 1 計算報 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1		リーガルリテラシー	1前・後		2							1
共性 通を対 を対性の心と身体 食の科学 1前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 3・マットワーク社会 3・マットワーク社会 3・マットワーク社会 4・大生社会入門 4・技会通に 4・技会通に 4・技会 3・でしのなかの日本国憲法 (らしのなかの日本国憲法 (らしのなかの日本国憲法 (をしのなかの日本国憲法 (をしいなかの日本国。) 1・2・3・4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ジェンダーリテラシー	1前・後		2							1
通を科生 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		子育てと環境	1前•後		2		2	1		1		
る 女性の心と身体 (2 3 前) 後 2 2 食の科学 2・3 前・後 2 1 歴史のなかの女性 2・3 前・後 2 1 芸術を読みとる 2・3 前・後 2 1 グローバル社会 1前・後 2 1 オットワーク社会 1前・後 2 1 共生社会入門 1前・後 2 1 社会 1前・後 2 1 持続可能な社会 1前・後 2 1 大らしのなかの日本国憲法 後 2 1 次害と社会 2・3 前・後 2 1 災害と社会 2・3 前・後 2 1 工世紀型の教育 2・3 前・後 2 1 共保健議科体 目育 1・2・3・4 1 1 1 1 持続朝間 1・2・3・4 1 1 1 1 1 大保健康科体 目育 1 2 2 2 1 <td>通を 科生</td> <td>女性と健康</td> <td>1前•後</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td>	通を 科生	女性と健康	1前•後		2							1
歴史のなかの女性 2·3 前・後 2 1 芸術を読みとる 2·3 前・後 2 1 グローバル社会 1前・後 2 1 オントワーク社会 1前・後 2 1 井生社会入門 1前・後 2 1 大き 表 では、		女性の心と身体			2							2
芸術を読みとる 2·3 前・後 2 1 グローバル社会 1前・後 2 1 ボットワーク社会 1前・後 2 1 共生社会入門 1前・後 2 1 共生社会入門 1前・後 2 1 共生社会入門 1前・後 2 1 大統可能な社会 1前・後 2 1 持続可能な社会 1前・後 2 1 「おきまる 1・2・3 前・後 2 1 「できまる 2・3 前・後 2 1 「できまる 2・3 前・後 2 1 大作の表する 1・2・3・4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		食の科学	2·3 前·後		2							1
グローバル社会 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		歴史のなかの女性	2·3 前·後		2							1
ネットワーク社会 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		芸術を読みとる	2·3 前·後		2							1
共生社会入門 1前・後 2 社 共会 通に 科徒可能な社会 1前・後 2 村続可能な社会 1前・後 2 くらしのなかの日本国憲法 後 1・2・3 前・ 後 2 ボランティア論 後 1・2・3 前・後 2 災害と社会 2・3 前・後 2 21世紀型の教育 2・3 前・後 2 1・2・3・4 前 1 1 月体運動 I 身体運動 I 身体運動 I 1・2・3・4 前 1 1 月機構和体 目育 1・2・3・4 後 1 1 1 月機構設理演習 I 科型の 特額の理演習 I 特額の理演習 I 1 1 3 1・2・3・4 1 1 3		グローバル社会	1前・後		2							1
社 共会 適に 科生 目き る る くらしのなかの日本国憲法 (らしのなかの日本国憲法 後 1前・後 2 1・2・3 前・ 後 2 1・2・3 前・ 後 2 1・2・3 前・ 後 1 2 2 1 2 3 1 2 3 4 2 3 1 2 3 4 2 3 1 2 3 4 2 3 4 2 3 4 3 4 2 3 4 3 4 3 4 3 4		ネットワーク社会	1前・後		2							1
共会 通に 科生 日き る 持続可能な社会 1前・後 2 ばらしのなかの日本国憲法 後 1・2・3 前・ 後 2 ボランティア論 災害と社会 2・3 前・後 2 21世紀型の教育 2・3 前・後 2 共保 通健 科体 目育 身体運動 I 1・2・3・4 前 1 サ体運動 I 1・2・3・4 前 1 1 共情報 科処 特別 1 1 1 は無約の理演習 I 1・2・3・4 後 1 1 1・2・3・4 1 1 3 1・2・3・4 1 1 3 1・2・3・4 1 1 2		共生社会入門	1前・後		2							1
通に 科生 目きる くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 2・1 1・2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 1・2・3・4 前 1・2・3・4 前 1・1・2・3・4 前 1・2・3・4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		多様性と倫理	1前・後		2							1
る 〈らしのなかの日本国憲法 後 1・2・3 前・ 2	通に 科生	持続可能な社会	1前•後		2							1
 次害と社会 2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 2・3 前・後 1 共保 身体運動 I 1・2・3・4 1 3 3 4 4 4 5 4 4		くらしのなかの日本国憲法			2							3
21世紀型の教育 2·3 前·後 2 1 共保 通健 科体 目育 身体運動 I 1·2·3·4 前 1 1 1 1 技情 通報 科型 性報処理演習 I 1前 1 1 1 1 10 1 1 1 1 10 2 2 2		ボランティア論			2							1
共保 通健 科体 目育 身体運動 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		災害と社会	2·3 前·後		2							1
通健 科体 目育 身体運動 I 接 1・2・3・4 後 1 1 1 1 10 1・2・3・4 後 1 1 3 3 科処理演習 I 1前 1 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		21世紀型の教育	2·3 前·後		2							1
目育 身体連動 I	通健	身体運動 I			1				1			1
通報		身体運動Ⅱ			1		1		1			10
科処 情報加冊演習 1・2・3・4 1		情報処理演習I	1前	1								3
		情報処理演習Ⅱ	1·2·3·4 後		1							3

【令和4年度】

K 13 4	14年度』		闰	並	ķ ∕ī	専任教員等の配置					
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・サ
			修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	入門ゼミナール	1前	2			11	5	4	1		
共ゼ	コミュニケーション演習	1前	1								2
通 オー	読書入門ゼミナール	1·2·3·4後		2				1			9
目 ル	課題解決ゼミナール	2·3 前•後		2							3
	総合ゼミナール	3·4 前•後		2							3
	地域で学ぶ	1·2·3·4 前·後		2							2
	地域と人間生活	2·3·4前· 後		2							10
共通総	人間関係とコミュニケーショ ン	1·2·3·4 後		2		1					1
科合 目	人間理解ワークショップ	2-3-4前	2			1					4
	総合科目	1·2·3·4 前·後		2							14
	自主社会活動	1·2·3·4 前·後		1							2
	キャリアデザインとライフプ ラン	1前・後		2							2
	リーガルリテラシー	1前•後		2							1
	ジェンダーリテラシー	1前•後		2							1
女共性	子育てと環境	1前•後		2		2	1		1		
通を 科生	女性と健康	1前•後		2							2
目きる	女性の心と身体	1・2・3 前		2							1
	食の科学	2·3 前·後		2							3
	歴史のなかの女性	2·3 前·後		2							1
	芸術を読みとる	2·3 前		2							1
	グローバル社会	1前・後		2							2
	ネットワーク社会	1前・後		2							1
	共生社会入門	1前•後		2							1
社共会	多様性と倫理	1前・後		2							1
通に科生	持続可能な社会	1前•後		2							1
目きる	くらしのなかの日本国憲法	1·2·3 前· 後		2							1
	ボランティア論	1·2·3 前· 後		2							1
	災害と社会	2·3 前·後		2							1
	21世紀型の教育	2·3 前·後		2							2
共保通健	身体運動 I	1·2·3·4 前		1				1			1
科体 目育	身体運動Ⅱ	1·2·3·4 後		1		1		1			13
共情 通報	情報処理演習I	1前	1								2
科処 目理	情報処理演習Ⅱ	1·2·3·4 後		1							2

			肖	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自由	教授	准教授	講	助数	助手	兼担
	英語 I a	1前	修	扣 1	由	l '⊽	按	師	教	=	2
	英語 I b	1後		1							2
	英語Ⅱa	2・3・4前		1							1
	英語IIb	2・3・4後		1							1
	中国語Ia	1前		1							2
外国語(中国語Ib	1後		1							2
通 #	中国語IIa	2・3・4前		1							2
科世科目	中国語IIb	2・3・4後		1							2
J	朝鮮語Ia	1前		1							1
	朝鮮語Ib	1後		1							1
	フランス語Ia	1前		1							1
	フランス語Ib	1後		1							1
	海外語学研修	1·2·3·4 前		1							1
	英語コミュニケーション基礎 a	2・3・4前		1							1
	英語コミュニケーション基礎 b	2・3・4後		1							1
	英語コミュニケーション発展 a	3•4前		1							1
	英語コミュニケーション発展 b	3•4後		1							1
	英語コミュニケーション応用	1·2·3·4 前·後		2							1
	アドバンスト・リスニング	1·2·3·4 後		2							2
外 国 # 語	アドバンスト・リーディング	1·2·3·4 後		2							2
共語 通目 科的	アドバンスト・ライティング	1·2·3·4 後		2							1
目別科	ビジネス英語	2・3・4後		2							1
目	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							1
	インターネット英語	2・3・4後		2							1
	メディア英語	2・3・4前		2							1
	TOEIC対策講座	1·2·3·4 後		2							1
	中国語試験対策講座	1·2·3·4 前		2							1
	日本語検定対策講座	1·2·3·4 前·後		2							1
	総合日本語Ia	1前		1							1
	総合日本語Ib	1後		1							1
	総合日本語Ⅱa	2前		1							1
	総合日本語IIb	2後		1							1
日本	総合日本語Ⅲa	3•4前		1							1
語	総合日本語Ⅲb	3•4後		1							1
共通科口(非母国	日本語表現技術I	1·2·3·4 前		1							1
目語者	日本語表現技術Ⅱ	1·2·3·4 後		1							1
向	日本語表現技術皿	1·2·3·4 前		1							1
	日本語表現技術Ⅳ	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究A(時事 I)	1·2·3·4 前		1							1
	日本語研究B(時事II)	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究C(ビジネスI)	1·2·3·4 前		1							1

			È	单位数	数	専	壬教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	英語 I a	1前	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 4
	英語 I b	1後		1							4
	英語Ⅱa	2・3・4前		1							1
	英語Ⅱb	2・3・4後		1							1
	中国語Ia	1前		1							3
外 国 #語	中国語Ib	1後		1							3
通基	中国語IIa	2・3・4前		1							1
目科目	中国語IIb	2・3・4後		1							1
)	朝鮮語Ia	1前		1							2
	朝鮮語Ib	1後		1							2
	フランス語Ia	1前		1							1
	フランス語Ib	1後		1							1
	海外語学研修	1•2•3•4 前		1							1
	英語コミュニケーション基礎 a	2・3・4前		1							2
	英語コミュニケーション基礎 b	2・3・4後		1							2
	英語コミュニケーション発展 a	3•4前		1							2
	英語コミュニケーション発展 b	3•4後		1							2
	英語コミュニケーション応用	1·2·3·4 後		2							2
	アドバンスト・リスニング	1·2·3·4 後		2							2
外 国 # 語	アドバンスト・リーディング	1·2·3·4 後		2							2
共語 通目 科的	アドバンスト・ライティング	1·2·3·4 後		2							2
目別 科	ビジネス英語	2・3・4後		2							1
目	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							2
	インターネット英語	2・3・4後		2							1
	メディア英語	2・3・4前		2							1
	TOEIC対策講座	1·2·3·4 前後		2							3
	中国語試験対策講座	1·2·3·4 前後		2							1
	日本語検定対策講座	1·2·3·4 前·後		2							2
	総合日本語Ia	1前		1							1
	総合日本語 I b	1後		1							1
	総合日本語Ⅱa	2前		1							1
	総合日本語IIb	2後		1							1
日本	総合日本語Ⅲa	3•4前		1							1
語	総合日本語Ⅲb	3•4後		1							1
通母	日本語表現技術 I	1•2•3•4 前		1							1
日語 者	日本語表現技術Ⅱ	1·2·3·4 後		1							1
向	日本語表現技術皿	1·2·3·4 前		1							1
	日本語表現技術IV	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究A(時事 I)	1·2·3·4 前		1							1
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究C(ビジネス I)	1·2·3·4 前		1							1

*1.E		·/·	È	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	日本語研究D(ビジネスII)	1.2.3.4	1186	1	ш	按	按	EIIJ	- 2χ	+	1
日本語	日本語研究E(医療·福祉 専門)	後 1·2·3·4 前		1							1
共 通 運	日本語研究F(人文科学)	1·2·3·4 後		1							1
^四 科 科 国 目語	日本語能力試験対策講座 I	1•2•3•4 前		1							1
者向	日本語能力試験対策講座	1·2·3·4 後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1·2·3·4 前		1							2
	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後		2							1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2							2
キ 共ヤ	プロアクティブ人材育成	2後		2							2
通り	キャリアサポート演習	3通		2							1
目教 育	キャリア基礎力 I	2•3前		2							2
	キャリア基礎カⅡ	2・3後		2							1
	インターンシップ短期	1·2·3前· 後		1							1
	インターンシップ長期	1·2·3前· 後		2							1
	小計(89科目)	-	8	127	0	5	3	1	1		74
	児童学概論	1前	2			6	7	1	1		
	児童学演習	1通	2			3	2		1		
専 門基	児童学研究法	3後	2			2					
科礎目	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1				
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1				
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1				
	保育者論	2後	2			1					
	幼児教育学	1前	2			1					
	教育学	1後	2								1
	保育制度·保育政策論	2前	2						1		
	特別支援教育概論	2後	2			1	1				
	障碍児保育	3前		2		1	1				
ょ 保	保育·教育課程論	3前		2		1					
専門科目保育と教育	子どもの理解と援助	2前	2			1	1				
目育	教育方法	2前	2								1
	乳児保育 I	2後		2							1
	乳児保育Ⅱ	3前		2							1
	多文化保育論	3·4前		2							1
	保育学	3·4前•後		2		1	1				
	保育臨床学	3·4前•後		2		1	1				
	保育実践論	3·4前•後		2		1			1		
	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
理保 専解育	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1		
専門科目(育内容の	子どもと自然	2後	2								1
出法の	言語文化表現	1後	2								2
		I	Ļ								

			道	单位数	数	車 ⁽	任教	員等	の酉	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
日	日本語研究D(ビジネスII)	1·2·3·4 後		1							1
本語	日本語研究E(医療·福祉 専門)	1·2·3·4 前		1							1
共通到	日本語研究F(人文科学)	1·2·3·4 後		1							1
科国目語	日本語能力試験対策講座 I	1•2•3•4 前		1							1
者向	日本語能力試験対策講座 II	1·2·3·4 後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1·2·3·4 前		1							2
	キャリアデザイン入門	2前	2			2	0		0		
	キャリアロールモデル研究	2前		2							1
	企業に学ぶキャリアデザイ ン	2前		2							2
キ 共ヤ	プロアクティブ人材育成	2後		2							1
通り科ア	キャリアサポート演習	3通		2							2
目教育	キャリア基礎力 I	2・3前		2							2
	キャリア基礎カⅡ	2・3後		2							2
	インターンシップ短期	1·2·3前· 後		1							1
	インターンシップ長期	1·2·3前· 後		2							1
	小計(89科目)	-	8	127	0	11	5	4	1		91
	児童学概論	1前	2			5	4	4	1		
	児童学演習	1通	2			3	2		1		
専 門 基	児童学研究法	3後	2			2					
科 礎 目	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	0	1			
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1	1			
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1	1			
	保育者論	2後	2			1		1			
	幼児教育学	1前	2			1		1			
	教育学	1後	2								1
	保育制度·保育政策論	2後	2			1					1
	特別支援教育概論	2後	2			1	1				2
	障碍児保育	3前		2		1	1				
_車 保	保育·教育課程論	3前		2		1					
専門科目保育と教育	子どもの理解と援助	2前	2			1	1	2			
目育	教育方法	2前	2								1
	乳児保育 I	2後		2				1			0
	乳児保育Ⅱ	3前		2				1			0
	多文化保育論	3·4前		2							1
	保育学	3·4前•後		2		1	1	1			
	保育臨床学	3·4前•後		2		1	1	1			
	保育実践論	3·4前•後		2		1			1		
	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
専門科と対	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1		
科目 と方容の	子どもと自然	2後	2								1
	言語文化表現	1後	2								1

14 E		T7 1/4	単	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	表現総論	2前	修 2	択	由	授 3	授 3	師 1	教	手	担
	保育内容総論	3後		2		1	1				
,	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1	ľ				
保育内	保育内容の指導法(環境)										
専容門の	保育内容の指導法(人間関	2後		2			1				
科理 目解	係)	3前		2		1			1		
と方法	保育内容の指導法(言葉) 保育内容の指導法(音楽表	3前		2		1	1				
,,,	現) 保育内容の指導法(造形表	3前•後		2			2				
	現) 保育内容の指導法(身体表	2後		2		1	1				
	現)	3前		2				1			
	保育·教育心理学	1前	2			1					
2%	生涯発達心理学	1後	2			1					
専門科	保育·教育相談	3後		2		1					
1科目床	青年心理学	2·3前		2		1					
	乳幼児発達論	3·4前•後		2		2					
	発達臨床論	3·4前•後		2		1	1				
	子ども家庭福祉 I	1前	2				1				
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後		2		1					
	社会福祉	1後	2			1					
専門 科	子ども家庭支援論	2前	2			1					
1科目社	社会的養護 I	2前		2		1					
TIL	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1				
	子育て支援	2後		2			2				
	児童養護論	3·4前•後		2		1	1				
	児童保健学	1後	2			1					
	子どもの健康と安全	2前	2			1					
専健	食と発達	2前		2							2
専門科目	子どもと運動	2前	2			1					
ョ動	幼児運動論	3·4後		2		1					
	児童保健学各論	3·4後		2		1					
	子どもと歌唱表現	2前	2				1				
	音楽表現基礎技能	1後		2			2				5
	感じて表現(造形)	1前	2				1				
	考えて表現(造形)	1後	2			1					
表表	子どもと身体表現	2後	2					1			1
専門科目 表現と文化				1			2	<u>'</u>			
目化	音楽表現応用	2·3前•後		1							6
	造形発達と表現	2·3·4後		2		1	1				
	幼児音楽論	3·4前•後		2			2				
	造形保育論	3·4前•後		2		1	1				
	身体表現論	3·4後		2				1			

			単	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	表現総論	2前	2			4	1	2			
	保育内容総論	3後		2		1	1	1			
保育	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1					
内専容	保育内容の指導法(環境)	2後		2			1				
門の 科理	保育内容の指導法(人間関 係)	3前		2		1		1			
目解 と 方	保育内容の指導法(言葉)	3前		2		1	1				
法	保育内容の指導法(音楽表 現)	3前		2		1	1				
	保育内容の指導法(造形表 現)	2後		2		1	0	1			
	保育内容の指導法(身体表 現)	3前		2				1			
	保育·教育心理学	1前	2			1					
	生涯発達心理学	1後	2			1					
専発 門 科	保育·教育相談	3後		2		1					
1 科目 居	青年心理学	2·3前		2		1					
	乳幼児発達論	3·4前•後		2		2					
	発達臨床論	3·4前•後		2		1	1				
	子ども家庭福祉 I	1前	2				1				
	子ども家庭福祉 Ⅱ	3後		2		1					
	社会福祉	1後	2			1					
専門科目	子ども家庭支援論	2前	2			1					
科福祉	社会的養護 I	2前		2		1					
	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1				
	子育て支援	2後		2			2				
	児童養護論	3·4前•後		2		1	1				
	児童保健学	1後	2			1					
	子どもの健康と安全	2前	2			1					
専門科目健康と運	食と発達	2前		2							2
,門科目康と運動	子どもと運動	2前	2			1					
	幼児運動論	3·4後		2		1					
L	児童保健学各論	3-4前		2		1					
	子どもと歌唱表現	2前	2				1				
	音楽表現基礎技能	1後		2		1	1				4
	感じて表現(造形)	1前	2			1	0				
	考えて表現(造形)	1後	2					1			
専門科と立	子どもと身体表現	2後	2					1			1
専門科目表現と文化	音楽表現応用	2·3前•後		1		1	1	0			6
[造形発達と表現	2·3·4後		2		0	0	1			
	幼児音楽論	3·4前•後		2		1	1				
	造形保育論	3·4前•後		2		1	0	1			
	身体表現論	3·4後		2				1			
			_	_	_	_	_	_	_	_	_

** =			È	单位数	数	専	壬教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	幼稚園教育実習総論	3·4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
フ	保育実習総論 I	3通		2		5	4		1		
イ ル	保育実習 I (保育所)	3·4通		2		3	2		1		
専ド門ワ	保育実習 I (施設)	3·4通		2		3	2		1		
科	保育実習総論 Ⅱ	4前		1		5	4		1		
実習	保育実習Ⅱ	3·4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習皿	3·4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3·4通		2		5	4		1		
専門総	保育·教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
科合目	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
	小計(76科目)	-	64	89	0	10	7	1	2		16
	合計(165科目)	-	72	216	0	10	7	1	2		87

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフブラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」からから1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。 高月短月から、必修科目6科目5年日2単位を含めた90単位以上を修得すること。 専門科目から、必修科目6科目2単位を含めた90単位以上を修得すること。 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単

卒業要件及び履修方法

位以上を修得すること。 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

21.5		tr	Ě	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	幼稚園教育実習総論	3·4通		2		3	3		0		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
フ	保育実習総論 I	3通		2		1	3		0		
イ ル	保育実習 I (保育所)	3·4通		2		0	2		0		
専ド門ワ	保育実習 I (施設)	3·4通		2		1	1		0		
科 目 ク	保育実習総論 II	4前		1		5	4		1		
実習	保育実習Ⅱ	3·4通		2		1	0	2	0		
Ü	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習Ⅲ	3·4通		2		1	1		0		
	保育インターンシップ	3·4通		2		4	4	2	0		
専門総	保育·教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
科合目	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
	小計(76科目)	-	64	89	0	11	5	4	1		15
	合計(165科目)	-	72	216	0	11	5	4	1		102
		業要件及	び履	修方	法						

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育でと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「外国語(基礎科目)」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目31科目64単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。 位以上を修得すること。 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

【令和2年度】

兼任 単位数 専任教員等の配置 科目 区分 配 当年次 授業科目の名称 兼担 必 選自 教 准 講 助 助 入門ゼミナール 1前 2 10 6 3 共通科目 ゼミナール コミュニケーション演習 前 2 読書入門ゼミナール 1.2.3.4後 2 9 課題解決ゼミナール 2·3 前•後 2 2 総合ゼミナール 3·4 前・後 2 2 1-2-3-4 地域で学ぶ 2 前·後 2・3・4前・ 地域と人間生活 2 6 共 通総 科合 目 人間関係とコミュニケーショ 1・2・3・4 2 2·3·4前· 後 人間理解ワークショップ 2 3 1·2·3·4 前·後 総合科目 2 10 1·2·3·4 前·後 自主社会活動 1 2 キャリアデザインとライフプ ラン 1前・後 2 2 リーガルリテラシー 1前・後 2 ジェンダーリテラシー 1前・後 2 女 共性 子育てと環境 1前·後 2 2 通科目 女性と健康 1前・後 2 1・2・3 前・ 女性の心と身体 2 食の科学 2·3 前·後 2 歴史のなかの女性 2 2·3 前·後 芸術を読みとる 2 2·3 前·後 グローバル社会 1前・後 2 ネットワーク社会 1前・後 2 共生社会入門 1前・後 2 多様性と倫理 1前・後 2 共会に生 持続可能な社会 1前・後 2 目き る 1·2·3 前· くらしのなかの日本国憲法 2 1・2・3 前・ ボランティア論 2 災害と社会 2·3 前·後 2 21世紀型の教育 2·3 前·後 2 共保 通健 1-2-3-4 身体運動 I 2 1 科体目育 1-2-3-4 身体運動 Ⅱ 0 13 1 共情 情報処理演習 I 1前 3 1 通報科処 1-2-3-4 情報処理演習Ⅱ 2 日理

【令和3年度】

L TO 4	和3年度』 		ä		Ьtт	亩	工 数	員等	の両	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区方		平 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	入門ゼミナール	1前	2			11	5	4	1		
共ゼ	コミュニケーション演習	1前	1								2
通ナー	読書入門ゼミナール	1·2·3·4後		2			0	1			8
目 _ル	課題解決ゼミナール	2·3 前•後		2							3
	総合ゼミナール	3·4 前•後		2							2
	地域で学ぶ	1·2·3·4 前·後		2							2
	地域と人間生活	2·3·4前· 後		2							10
共 通総	人間関係とコミュニケーショ ン	1·2·3·4 後		2		1					1
科合目	人間理解ワークショップ	2-3-4前	2			1					4
	総合科目	1·2·3·4 前·後		2							14
	自主社会活動	1·2·3·4 前·後		1							3
	キャリアデザインとライフプ ラン	1前•後		2							2
	リーガルリテラシー	1前•後		2							1
	ジェンダーリテラシー	1前•後		2							1
女共性	子育てと環境	1前•後		2		2	1		1		
通を科生	女性と健康	1前•後		2							2
目き る	女性の心と身体	1-2-3 前		2							1
	食の科学	2·3 前·後		2							3
	歴史のなかの女性	2·3 前·後		2							1
	芸術を読みとる	2-3 前		2							1
	グローバル社会	1前•後		2							2
	ネットワーク社会	1前•後		2							1
	共生社会入門	1前•後		2							1
社 共会	多様性と倫理	1前•後		2							1
通に 科生 目き	持続可能な社会	1前•後		2							1
8	くらしのなかの日本国憲法	1·2·3 前· 後		2							1
	ボランティア論	1·2·3 前· 後		2							1
	災害と社会	2·3 前·後		2							1
	21世紀型の教育	2·3 前·後		2							1
共保通健	身体運動 I	1•2•3•4 前		1				1			2
科体 目育	身体運動Ⅱ	1·2·3·4 後		1		1		1			12
共情通報	情報処理演習 I	1前	1								2
科 処 目 理	情報処理演習Ⅱ	1·2·3·4 後		1							2

展語 I a 1前	14 E		T7 1/2	単	单位数	数	専	壬教	員等	の酉	置	兼任
		授業科目の名称						教				兼
英語 II		英語 I a	1前	186		Ш	fx	fx	Pili	7X	-	
		英語 I b	1後		1							5
中国語は 1前 1 2 2 4 中国語は 1 2 3 3 4 4 前 1 2 3 3 4 4 前 1 3 4 4 5 5 5 5 5 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6		英語Ⅱa	2・3・4前		1							1
中国語 1後		英語Ⅱb	2・3・4後		1							1
国語 (基礎科目) 1後		中国語Ia	1前		1							2
通科目 日	国	中国語Ib	1後		1							2
日報日	通基	中国語IIa	2・3・4前		1							2
明解語	目解	中国語IIb	2・3・4後		1							2
フランス語 1前	1)	朝鮮語Ia	1前		1							2
1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1		朝鮮語Ib	1後		1							2
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		フランス語Ia	1前		1							1
横が記子が歩く下側が		フランス語Ib	1後		1							1
英語コミュニケーション基礎 2・3・4物 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		海外語学研修(未開講)			1							1
英語コミュニケーション発展 東語コミュニケーション発展 東語コミュニケーション応用 (未開課) 3.44億 1 1 1 1・2・3・4 2 2 2・3・4後 2 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 2・3・4後 2 3 3 4 6 6 7 ドバンスト・ライティング 2・3・4後 2 2・3・4後 2 3 4 7 ドグンスト・ライティング 2・3・4後 2 4 7 ドグンスト・ライティング 2・3・4後 2 4 7 ドグンスト・ライティング 2・3・4後 2 4 7 インターネット英語 2・3・4後 2 4 7 インターネット英語 2・3・4後 2 4 8 合日本語 I a 1 1 2 2 3・4 8 6 8 合日本語 I a 1 1 8 合日本語 I a 2 6 8 合日本語 I a 8 合日					1							1
英語コミュニケーション発展 次語コミュニケーション発展 次語コミュニケーション応用 (未開講) 1 2-3-4 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		英語コミュニケーション基礎	2・3・4後		1							1
英語コミュニケーション応用 (大場開歌) 1・2・3・4 に大場開歌) 1・2・3・4 に大場開露 1・2・3・4 に大場所取 2・3・4後 2 に対する 2 に対する 4 に 2・3・4後 2 に対する 4 に 2・3・4後 2 に 3・3・4後 2 に 3・3・4節 1 に 3・3・4 2 に 3・3・4 3 に 3		英語コミュニケーション発展	3•4前		1							1
英語コミュニケーション応用 (木開像) アドバンスト・リスニング (大開像) アドバンスト・リーディング (大 2) 1・2・3・4 (大 2) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		英語コミュニケーション発展	3•4後		1							1
アドバンスト・リスニング 後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3・4後 2 2 2 2 2 3・4後 2 2 2 3・4後 2 2 3・4後 2 2 3・4後 2 2 3・4後 2 3・4後 2 3・4後 2 3・4後 2 3・46 2 3・4後 2 3・46 3 3・46					2							1
国語目			1.2.3.4		2							2
プロ目 科別 日	国	アドバンスト・リーディング	1-2-3-4		2							2
世ジネス英語	通目	アドバンスト・ライティング	1.2.3.4		2							2
映画・ドラマ英語 2・3・4後 2 インターネット英語 2・3・4後 2 メディア英語 1・2・3・4 2 中国語試験対策講座 1・2・3・4 2 中国語試験対策講座 1・2・3・4 2 日本語検定対策講座 1・2・3・4 2 総合日本語 I a 1前 1 総合日本語 I a 1前 1 総合日本語 I a 2前 1 総合日本語 I a 2前 1 総合日本語 I a 2後 1 総合日本語 I a 3・4前 1 総合日本語 I a 3・4前 1 総合日本語 I a 3・4前 1 おお話表現技術 I 1・2・3・4 1 日本語表現技術 II 1・2・3・4 1 日本語表現技術 II 1・2・3・4 1 日本語表現技術 II 1・2・3・4 1 日本語研究A(時事 I) 1・2・3・4 1 日本語研究B(時事 II) 1・2・3・4 1 日本語研究B(時事 I	科	ビジネス英語	2・3・4後		2							1
メディア英語 2・3・4前 2 1 TOEIC対策講座 1・2・3・4 2 1 中国語試験対策講座 1・2・3・4 2 1 日本語検定対策講座 1・2・3・4 2 1 総合日本語 I a 1前 1 1 総合日本語 I a 2前 1 2 総合日本語 I a 2前 1 1 総合日本語 I a 2前 1 1 総合日本語 I a 2前 1 1 総合日本語 II b 2後 1 1 総合日本語 II b 2後 1 1 総合日本語 II b 3・4前 1 1 総合日本語 II b 1・2・3・4 1 1 総合日本語 II b 1・2・3・4 1 1 日本語表現技術 II 1・2・3・4 1 1 日本語表現技術 II 1・2・3・4 1 1 日本語表現技術 II 1	В	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							1
TOEIC対策講座		インターネット英語	2・3・4後		2							1
TOEIC対東調産 後		メディア英語	2・3・4前		2							1
中国語試験列表講座		TOEIC対策講座			2							3
1		中国語試験対策講座			2							1
総合日本語 I b 1後 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 2 1		日本語検定対策講座			2							1
総合日本語 II a 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		総合日本語 I a	1前		1							1
総合日本語 II b 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		総合日本語 I b	1後		1							2
日本語 総合日本語 III		総合日本語Ⅱa	2前		1							1
本語 総合日本語Ⅲb 3・4後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		総合日本語IIb	2後		1							1
大		総合日本語Ⅲa	3•4前		1							1
日本語表現技術 I		総合日本語Ⅲb	3•4後		1							1
日語 者 日本語表現技術 I 1・2・3・4 後 1	科母	日本語表現技術I			1							1
日本語表現技術II 12·3·4 1 日本語表現技術IV 1·2·3·4 1 日本語研究A(時事 I) 1·2·3·4 1 日本語研究B(時事 II) 1·2·3·4 1 日本語研究B(時事 II) 1·2·3·4 1 日本語研究B(時事 II) 1·2·3·4 1	日語 者	日本語表現技術Ⅱ			1							1
日本語研究A(時事 I)	向)	日本語表現技術皿			1							1
日本語研究B(時事 I)		日本語表現技術Ⅳ			1							1
後		日本語研究A(時事 I)			1							2
		日本語研究B(時事II)			1							1
日本語研究C(ビジネス I) 1-2-3-4 1 1 1		日本語研究C(ビジネス I)	1·2·3·4 前		1							1

			È	単位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
	英語 I a	1前	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 4
	英語 I b	1後		1							4
	英語Ⅱa	2・3・4前		1							1
	英語Ⅱb	2・3・4後		1							1
	中国語Ia	1前		1							2
外 国 #語	中国語Ib	1後		1							2
通基	中国語IIa	2・3・4前		1							1
目科目	中国語IIb	2•3•4後		1							1
u)	朝鮮語Ia	1前		1							2
	朝鮮語Ib	1後		1							2
	フランス語Ia	1前		1							1
	フランス語Ib	1後		1							1
	海外語学研修 (未開講)	1-2-3-4		1							1
	英語コミュニケーション基礎 a	前 2·3·4前		1							2
	す 英語コミュニケーション基礎 b	2・3・4後		1							2
	英語コミュニケーション発展 a	3•4前		1							1
	す 英語コミュニケーション発展 b	3•4後		1							1
	英語コミュニケーション応用	1·2·3·4 後		2							2
	アドバンスト・リスニング	1·2·3·4 後		2							2
外国	アドバンスト・リーディング	1·2·3·4 後		2							1
共語 通目 科的	アドバンスト・ライティング	1·2·3·4 後		2							2
目別 科	ビジネス英語	2・3・4後		2							1
目	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							2
	インターネット英語	2・3・4後		2							1
	メディア英語	2・3・4前		2							1
	TOEIC対策講座	1·2·3·4 後		2							2
	中国語試験対策講座	1・2・3・4 前		2							1
	日本語検定対策講座	1·2·3·4 前·後		2							2
	総合日本語Ia	1前		1							1
Ì	総合日本語Ib	1後		1							1
	総合日本語Ⅱa	2前		1							1
	総合日本語Ⅱb	2後		1							1
日本	総合日本語Ⅲa	3•4前		1							1
語	総合日本語Ⅲb	3・4後		1							1
共通科日(非母国	日本語表現技術 I	1•2•3•4 前		1							1
口語 者	日本語表現技術Ⅱ	1·2·3·4 後		1							1
向)	日本語表現技術皿	1•2•3•4 前		1							1
	日本語表現技術Ⅳ	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究A(時事 I)	1•2•3•4 前		1							1
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1·2·3·4 後		1							1
	日本語研究C(ビジネス I)	1•2•3•4 前		1							1
		-									

			È	単位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	日本語研究D(ビジネスII)	1·2·3·4 後	1-2	1		12		<u> </u>	72		1
日本語	日本語研究E(医療・福祉 専門)	1·2·3·4 前		1							1
共介	日本語研究F(人文科学)	1·2·3·4 後		1							1
母国語	日本語能力試験対策講座	1·2·3·4 前		1							1
者向	日本語能力試験対策講座 II	1·2·3·4 後		1							1
V	日本語集中講座(編入)	2-3-4前		1							2
	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後		2							1
	企業に学ぶキャリアデザイ ン	2前		2							2
キ 共ヤ	プロアクティブ人材育成	2後		2							2
通リ 科ア	キャリアサポート演習	3通		2							1
目教育	キャリア基礎カ I	2•3前		2							2
	キャリア基礎カⅡ	2•3後		2							1
	インターンシップ短期	1·2·3前· 後		1							1
	インターンシップ長期	1·2·3前· 後		2							1
	· 小計(89科目)	-	8	127	0	10	6	3	1		88
	児童学概論	1前	2			6	6	1	1		
	児童学演習	1通	2			3	2		1		
専 門基	児童学研究法	3後	2			2					
科礎 目	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1				
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1				
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1				
	保育者論	2後	2			1					
	幼児教育学	1前	2			1					
	教育学	1後	2								1
	保育制度·保育政策論	2前	2						1		
	特別支援教育概論	2後	2			1	1				
	障碍児保育	3前		2		1	1				
専保専会	保育·教育課程論	3前		2		1					
専門科目 会を教育	子どもの理解と援助	2前	2			1	1				
日育	教育方法	2前	2								1
	乳児保育 I	2後		2							1
	乳児保育Ⅱ	3前		2							1
	多文化保育論	3·4前		2							1
	保育学	3·4前・後		2		1	1				
	保育臨床学	3·4前•後		2		1	1				
	保育実践論	3·4前•後		2		1			1		
保育	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
専門科 内容の理	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1		
目解	子どもと自然	2後	2								1
と 方	言語文化表現	1後	2								2

			道	单位数	数	車 ⁽	任教	員等	の酉	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
			修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
日	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1·2·3·4 後		1							1
本語	日本語研究E(医療·福祉 専門)	1·2·3·4 前		1							1
共通 利	日本語研究F(人文科学)	1·2·3·4 後		1							1
科国目語	日本語能力試験対策講座 I	1·2·3·4 前		1							1
者向	日本語能力試験対策講座 II	1·2·3·4 後		1							1
)	日本語集中講座(編入)	1•2•3•4 前		1							1
	キャリアデザイン入門	2前	2			4	1		1		
	キャリアロールモデル研究	2前		2							1
	企業に学ぶキャリアデザイ ン	2前		2							2
キ 共ヤ	プロアクティブ人材育成	2後		2							1
通り科ア	キャリアサポート演習	3通		2							1
目教育	キャリア基礎力 I	2・3前		2							1
	キャリア基礎カⅡ	2・3後		2							1
	インターンシップ短期	1·2·3前· 後		1							1
	インターンシップ長期	1·2·3前· 後		2							1
	小計(89科目)	-	8	127	0	11	5	4	1		95
	児童学概論	1前	2			5	5	2	1		
	児童学演習	1通	2			3	2		1		
専 門 基	児童学研究法	3後	2			2					
科礎 目	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	0	1			
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1	1			
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1	1			
	保育者論	2後	2			1		1			
	幼児教育学	1前	2			1		1			
	教育学	1後	2								1
	保育制度·保育政策論	2後	2			1			0		1
	特別支援教育概論	2後	2			1	1				2
	障碍児保育	3前		2		1	1				
事 保	保育·教育課程論	3前		2		1					
専門科目保育と教育	子どもの理解と援助	2前	2			1	1	1			
目育	教育方法	2前	2								1
	乳児保育 I	2後		2				1			1
	乳児保育Ⅱ	3前		2							1
	多文化保育論	3·4前		2							1
	保育学	3·4前•後		2		1	1				
	保育臨床学	3·4前•後		2		1	1				
	保育実践論	3·4前•後		2		1			1		
	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
専門科と対	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		0		1
 	子どもと自然	2後	2								1
	言語文化表現	1後	2								2

41 D		Ξ7 1/ <i>t</i>	単	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	表現総論	2前	修 2	択	由	授 3	授 3	師 1	教	手	担
	保育内容総論	3後		2		1	1				
/0	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1	ľ				
保 育 内	保育内容の指導法(環境)	2後		2		ľ	1				
専容 門の	保育内容の指導法(人間関	3前		2		1			1		
科理 目解	係) 保育内容の指導法(言葉)					1			'		
と方法	保育内容の指導法(音楽表 保育内容の指導法(音楽表	3前		2		1	1				
	現) 保育内容の指導法(造形表	3前・後		2			2				
	現) 保育内容の指導法(身体表	2後		2		1	1				
	現)	3前		2				1			
	保育·教育心理学	1前	2			1					
+ 発	生涯発達心理学	1後	2			1					
専門科=	保育·教育相談	3後		2		1					
科臨	青年心理学	2·3前		2		1					
	乳幼児発達論	3·4前•後		2		2					
	発達臨床論	3·4前•後		2		1	1				
	子ども家庭福祉 I	1前	2				1				
	子ども家庭福祉 Ⅱ	3後		2		1					
	社会福祉	1後	2			1					
専 専 門 科	子ども家庭支援論	2前	2			1					
科福祉	社会的養護 I	2前		2		1					
	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1				
	子育て支援	2後		2			2				
	児童養護論	3·4前•後		2		1	1				
	児童保健学	1後	2			1					
	子どもの健康と安全	2前	2			1					
専門科目健康と運動	食と発達	2前		2							2
. 科目	子どもと運動	2前	2			1					
243	幼児運動論	3·4後		2		1					
	児童保健学各論	3·4後		2		1					
	子どもと歌唱表現	2前	2				1				
	音楽表現基礎技能	1後		2			2				5
	感じて表現(造形)	1前	2			1	0				
	考えて表現(造形)	1後	2			0		1			
事表 専現	子どもと身体表現	2後	2					1			1
専門科目 表現と文化	音楽表現応用	2·3前•後		1			2				6
115	造形発達と表現	2·3·4後		2		1	1				
	幼児音楽論	3·4前•後		2			2				
	造形保育論	3·4前•後		2		1	1				
	身体表現論	3·4後		2				1			
	っ かなが間	J 71/2		۷.				L'			

T		T 7 1/4	耳	单位数	数	専	壬教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	表現総論	2前	修 2	択	由	授 4	授 1	節 2	教	手	担
	保育内容総論	3後		2		1	1	_			
-	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1	ľ				
保育内	保育内容の指導法(環境)					'					
専容門の	保育内容の指導法(東境) 保育内容の指導法(人間関	2後		2			1				
科理 目解	係)	3前		2		1			1		
と方法	保育内容の指導法(言葉) 保育内容の指導法(音楽表	3前		2		1	1				
法	現)	3前•後		2			2				
	保育内容の指導法(造形表現) 場合内容の指導法(息休表	2後		2		1	0	1			
	保育内容の指導法(身体表現)	3前		2				1			
	保育·教育心理学	1前	2			1					
-	生涯発達心理学	1後	2			1					
専門 科達 と	保育·教育相談	3後		2		1					
科臨床	青年心理学	2·3前		2		1					
	乳幼児発達論	3·4前•後		2		2					
	発達臨床論	3·4前•後		2		1	1				
	子ども家庭福祉 I	1前	2				1				
	子ども家庭福祉 Ⅱ	3後		2		1					
	社会福祉	1後	2			1					
専門科	子ども家庭支援論	2前	2			1					
台福	社会的養護 I	2前		2		1					
中祉	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1				
	子育て支援	2後		2			2				
	児童養護論	3·4前•後		2		1	1				
	児童保健学	1後	2			1					
	子どもの健康と安全	2前	2			1					
専健	食と発達	2前		2							2
専門科目健康と運動	子どもと運動	2前	2			1					
一動	幼児運動論	3·4後	-	2		1					
	児童保健学各論	3・4前		2		1					
			2	۷		Ľ	1				
	子どもと歌唱表現	2前	_	•							_
	音楽表現基礎技能	1後		2		1	1				5
	感じて表現(造形)	1前	2			1	0				
表表	考えて表現(造形)	1後	2			0		0			1
専門科目表現と文化	子どもと身体表現	2後	2					0			2
自化	音楽表現応用	2·3前•後		1		1	1	1			5
	造形発達と表現	2·3·4後		2		0	0	1			
	幼児音楽論	3·4前•後		2			2				
	造形保育論	3·4前•後		2		1	1				
	身体表現論	3·4後		2				1			

THE C		T7 1/2	耳	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	幼稚園教育実習総論	3·4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
フ	保育実習総論 I	3通		2		5	4		1		
ィール	保育実習 I (保育所)	3·4通		2		3	2		1		
専ド 門ワ	保育実習 I (施設)	3·4通		2		3	2		1		
科 目 ク	保育実習総論 Ⅱ	4前		1		5	4		1		
実習	保育実習Ⅱ	3·4通		2		3	2		1		
~	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習皿	3·4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3·4通		2		5	4		1		
専 門総	保育·教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
科合目	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
	小計(76科目)	-	64	89	0	10	7	3	2		16
	合計(165科目)	-	72	216	0	10	7	3	2		104

卒業要件	上及び履	修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフブラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」からから1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。

合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

14 D		配当	耳	单位数	汝	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	曲	授	授	師	教	手	担
	幼稚園教育実習総論	3·4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
フ	保育実習総論 I	3通		2		5	4		1		
イ ル	保育実習 I (保育所)	3·4通		2		3	2		1		
専ド 門 ワ	保育実習 I (施設)	3·4通		2		3	2		1		
科 目 ク	保育実習総論 Ⅱ	4前		1		5	4		1		
実習	保育実習Ⅱ	3·4通		2		3	2		1		
\sim	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習Ⅲ	3·4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3·4通		2		5	4		1		
専 門総	保育·教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
科合目	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
	小計(76科目)	-	64	89	0	11	5	4	1		17
	合計(165科目)	-	72	216	0	11	5	3	1		109

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目31科目64単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。

合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和2年度】

- ・担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授5」「准教授3」「講師1」「助教1」から「教授10」「准教授6」「講師3」「助教1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼担6」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担17」から「准教授1」「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「教授1」から「兼任・兼担10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼相1」から「兼任・兼相2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「身体運動 I 」の教員配置を「講師1」「兼任・兼担1」から「講師1」「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「身体運動II」の教員配置を、「教授1」「講師1」「兼任・兼担10」から「教授1」「兼任・兼担13」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語 I a」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語 I b」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語 [a」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ib」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語 I b」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事I)」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・担当教員変更により、「児童学概論」の教員配置を、「教授6」「准教授7」「講師1」「助教1」から「教授6」「准教授6」「講師1」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「感じて表現(造形)」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「考えて表現(造形)」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。

【令和3年度】

- 担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を「教授10」「准教授6」「講師3」「助教1」から「教授11」「准教授5」「講師・4」「助教1」 に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「入門ゼミナール」の教員配置を、「講師3」「助教1」から「講師4」「助教1」に変更。
- ・担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「准教授1」「兼任・兼担9」から「准教授0」「講師1」「兼任・兼担8」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「課題解決ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「地域と人間生活」の教員配置を、「兼任・兼担6」から「兼任・兼担10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担3」から「教授1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の配当年次を、「2.3.4前後」から「2.3.4前」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼担10」から「兼任・兼担14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「自主社会活動」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性の心と身体」の配当年次を、「1.2.3前後」から「1.2.3前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「食の科学」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「芸術を読みとる」の配当年次を、「2.3前後」から「2.3前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「身体運動Ⅱ | の教員配置を、「教授1 | 「講師0 | 「兼任・兼担13 | から「教授1 | 「講師1 | 「兼任・兼担12 | に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習 I 」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語 I a 」の教員配置を、「兼任・兼担5」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語 I b 」の教員配置を、「兼任・兼担5」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語 II a」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語Ⅱb」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎a」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎 b」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- 「英語コミュニケーション応用」の配当年次を、「1.2.3.4前後」から「1.2.3.4後」に変更。

- ・ 担当教員変更により、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「映画・ドラマ英語」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当教員変更により、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1.2.3.4前)から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語 I b」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語研究 A (時事 I) 」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語集中講座(編入)」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「2,3,4前」から「1,2,3,4前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「キャリアデザイン入門」の教員配置を、「教授1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアロールモデル研究」の配当年次を、「2後」から「2前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「プロアクティブ人材育成」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「キャリア基礎力 I | の教員配置を、「兼任・兼担2 | から「兼任・兼担1 | に変更。
- 担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「児童学概論」の教員配置を、「教授6」「准教授6」「講師1」「助教1」から「教授5」「准教授5」「講師2」 「助教1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ネイチャー・ワーク」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授0」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「幼児教育基礎実習」の教員配置を、「教授3」「准教授1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「幼児教育基礎演習」の教員配置を、「教授3」「准教授1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「保育者論」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「幼児教育学」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- 教育効果を考慮し、「保育制度・保育政策論」の教員配置を、「助教1」から「教授1」「助教0」「兼任・兼担1」に変更。
 教育効果を考慮し、「保育制度・保育政策論」の配当年次を、「2前」から「2後」に変更。
- 教育別末でも思し、「体育制度「体育以来論」の配当年久で、「2削」がり「2後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「特別支援教育概論」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「准教授1」「准教授1」「准教授1」「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「子どもの理解と援助」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「准教授1」「准教授1」「准教授1」「清師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「乳児保育 I」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「講師1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者の職位変更及び担当教員変更により、「表現総論」の教員配置を、「教授3」「准教授3」「講師1」から「教授4」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育内容の指導法(造形表現)」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「准教授1」「准教授0」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「児童保健学各論」の配当年次を、「3.4後」から「3.4前」に変更。
- ・ 担当者の職位変更前により、「音楽表現基礎技能」の教員配置を、「准教授2」「兼任・兼担5」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼担5」に変更。
- ・担当教員変更により、「考えて表現(造形)」の教員配置を、「教授0」「講師1」から「教授0」「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員変更により、「子どもと身体表現」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担1」から「講師0」「兼任・兼担2」に変更。
- 担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「音楽表現応用」の教員配置を、「准教授2」「兼任・兼担6」から「教授1」「准教授1」「講師1」「兼任・ ・ 兼担5」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「造形発達と表現」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授0」「准教授0」「講師1」に変更。

【令和4年度】

- ・教育効果を考慮し、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担8」から「講師1」「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「21世紀型の教育」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当教員変更により、「身体運動Ⅰ」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担2」から「講師1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師1」「兼任・兼担12」から「教授1」「講師1」「兼任・兼担13」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語 I a」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語 I b」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション発展a」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション発展b」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- 合わせて、配当年次を「1.2.3.4後」から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語試験対策講座」の配当年次を、「1.2.3.4後」から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「キャリアデザイン入門」の教員配置を、「教授4」「准教授1」「助教1」から「教授2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアサポート演習」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

- ・ 教育効果を考慮し、「キャリア基礎力 I 」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「キャリア基礎力Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「児童学概論」の教員配置を、「教授4」「准教授5」「講師2」「助教1」から「教授5」「准教授4」「講師4」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「子どもの理解と援助」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」「溝師2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「乳児保育 I 」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「乳児保育Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保育学」の教員配置を、「教授1」「准教授1」がら「教授1」「准教授1」「清師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「保育臨床学」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「言語文化表現」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保育内容総論」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「6、教授1」「准教授1」「進教授1」「進教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「保育内容の指導法(人間関係)」の教員配置を、「教授1」「助教1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「保育内容の指導法(音楽表現)」の教員配置を、「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。 合わせて、配当年次を「3前後」から「3前」に変更。
- ・担当教員変更により、「音楽表現基礎技能」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「兼任・兼担5」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・担当教員変更により、「音楽表現応用」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「講師1」「兼任・兼担5」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「幼児音楽論」の教員配置を、「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「造形保育論」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「幼稚園教育実習総論」の教員配置を、「教授5」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授3」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育実習総論 I 」の教員配置を、「教授5」「准教授4」「助教1」から「教授1」「准教授3」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育実習 I (保育所)」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育実習 I (施設) 」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育実習 I (施設) 」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「助教1」から「教授1」「講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育実習皿」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育インターンシップ」の教員配置を、「教授5」「准教授4」「助教1」から「教授4」「准教授4」「講師2」に変更。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計	画			変更	夏 状況		備考
必修 選択 自由 計(A				必修	選択	自由	計	1用行
36 科目	129 科目	科目	165 科目	36 科目 [0]	129 科目 [0]	科目	165 科目 [0]	

(注) ・ $extit{ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:<math>\triangle$ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - <u>履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。</u>
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

	(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知	
Ī			[
ı		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	i

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」	に対する	「土門謹利日」	レ廃止利日の計し	の割合
(\mathbf{O})	「夜色时の計画の技業科日数の計」	1CXJ 9 Q	一不用油件日(いきし

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	165	=		70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講社」と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分					内					5	容				備考
(1)	区	分			専	用	共	J.F.]		ŧ用する ⋭校等の				計		
+5	校	舎敷は	t		24,	118 m²		_	mÎ		_	9713	m²		24, 118	m²	†
校	運	動場用地	į		39,	202 m²		_	mi		_		mî		39, 202	mi	
地	小	Ē	ŀ		63,	320 m ²		_	mi		_		m²		63, 320	m	大学全体
等	そ	の他	3		21,	905 m²		_	m		_		mî		21, 905	m	
₹	合	Ē	ŀ		85,	225 m²		_	mi		_		m²		85, 225	m	
					専	用	共 用			ŧ用する ⋭校等の				計			
(2) 校		舎			30,	715 m ²		_	mi		_		mî		30, 715		大学全体
				('15 m ²)	(_	m³)	(_	m³)		(3	30, 715 m²)		字生の修字環境の見
			講	義	室	演	室	実	験実習	室	情報外	0.理学習	施設	語	学学習加	施設	直しを行い、講義 室、実験演習室の
(3) 教	等		55 室 57 室		48	室		29 室			8 室 7 室			7 室 9 宰		増、演習室の減 (3)。 学生の修学環境の見	
				55 室 53 室	55 室 47				19 室			7 =			V =		直しを行い、学修施設を増やした。ただ
											職員・	—人)	(補助	職員	—人)	し、語学学習施設 は、学内組織の変更 により2室減となっ	
						新設学部	等の名称					室		数			T食品開発】 新規採用者 1 名分増 (3)
					人	間生活学部	健康栄養学科					1 1				室	【健康栄養】 自己都合退職者1名
(4) 専	任教員研	究室			人	間生活学部	食物栄養	養学科		16 15 室 17						室	分減(2)
					人	間生活学部	食品開発	Ě 学科			8 2 室						【食物栄養】 申請時の17は誤植 で18。学年進行中
				人間生活学部 人間福祉学科								1-	4			室	の就任者2名、自己 都合退職1名計3名分 減(2)
			[2	ži –	#	学術	雑誌								_	NPV. (Z)	
(5)	新設学 の名		〔う	ち外国]書〕	〔うちタ	ト国書〕 電子ジャーフ			ナル	仇腮身	夏科	憷怈'	奋具	標	本	
					Ħ		種〔うち外国]書〕 点			点			
			189, 9	06 [20	970)	706	[207]		18	(4) 4, 896						学部単位での特定不 能なため、大学全体	
書・	大学:	全体	-(1	79.390 F	20, 118]) 20, 333]) 20, 570])	(703	206)) 206)) 207))	_	(22 [4]) (20 [4]) (18 [4])	_(4_442)_		142)	()	()	の数
設備			189. 9	06 [20), 970]	706	[207]		18	[4]	4, 8						
WH3	計				20, 118))	(706			(22 [4])		(4, 5	582)					
			-(1	79.390 f	20, 333)) 20, 570))	(703 -(706	2061)	_	(20 (4)) (18 (4))	⊢	(4, 4 (4, 4	142)	()	()	
				面		積		閲覧	覧 座 席	ま 数		4	又納	可 能	冊業	数	大学全体 6人掛け閲覧席を個人
(6) 図	書	館				1, 930	m²				353 391 345				4	69, 935 50, 722 46, 639	キャレルに変更した ため、座席数は減少
		面 積 体育館以外のスポーツ								ポーツ旅	設の概	要					
(7) 体	育	館				3, 253	m ⁱ 該	当		な	L	該	当		な	L	
	経費	<u> </u>	ξ	分		開設年度	完成年	度	区	分	開設前	前年度	開設	年度	完成	年度	
(8)	8) の見 教員1人当「		人当り	研究	費等	170千円	170·	千円	図書購.	入費	5, 0	00千円	5, 00	00千円	5, 0	00千円	大学全体
積り及	経質の見 責り及び 共 同 研			究 費	等	17,000千円	17, 000	千円	設備購.	入費	100, 0	00千円	100, 00	00千円	50, 0	00千円	
	(7) 慨 安			1 年次		第2年次	穿	第3年次		第4年	次	第	5年次		第6年	F次	75 rds 224 str 224 st.
	学生 1 人当 り 納付金			1, 350-	f用	1, 260₹	· m	1, 260 T	円	1, 2	60千円		– ₹	·円	_	千円	健康栄養学科 食物栄養学科 食品開発学科
	W d d d d a m d				千円	1.240千円		1. 240 T			40千円		— ₹	円	_	千円	人間福祉学科
	学生	納付金	以外の	維持方	法の概	要 私立大	学等経常	経費補助	金、資	産運用	収入、	雑収入	等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字	学園女子	子大学				学生募集停止学科数	平均入学定員超 9 過率1.3倍以上の 学科等数					備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度			年度		
人間生活学部	4	350	3 年次 15	350	-		1. 00	令和2	令和2					
健康栄養学科	4	120	3年次	120	学士	0. 98	0. 86	令和2	令和2					
<u>食物栄養学科</u>	4	120	3 年次 10	120	学士	1. 09	1. 12	令和2	令和2					
食品開発学科	4	40	-	160	学士	0. 90	1. 00	令和2	令和2					
<u>人間福祉学科</u>	4	70	-	70	学士	1. 11	1. 05	令和2	令和2					
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士	1. 35	1. 20	令和2	令和2					
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士(社会福祉	1. 02	1. 00	令和2	令和2					
教育人文学部	4	440	3年次	440	_		0. 83	令和2	令和2					
幼児教育学科	4	170	- 5 -	170	学士	0. 87	0. 74	令和2	令和2					
<u>初元教育于科</u> 児童教育学科	4	80	_	80	(教育学)	0. 83	0. 74	令和2	令和2					
○ <u>元里教育子科</u> ○ 心理学科	4	120		120	(教育学)	1. 20	1. 00	令和2	¬¬пи2 令和2					
	4	70	3 年次	70	心理学		1.00							
<u>文芸文化学科</u>	4	70	5	70	(文学)	1. 20	1.00	令和2	令和2					
社会情報デザイン学部	4	130	3年次5	130	_	0. 86	0. 47	令和2	令和2					
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5	130	学士	0. 86	0. 47	令和2	令和2	埼玉県 沢2丁				
(旧)人間生活学部	4	-	-	_	_	-	-	-	平成23				(旧)人 学部	、間生活
幼児教育学科	4	-	-	-	学士	-	-	_	平成23					度より学 ≦ι⊦
児童教育学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成23				工分末日	
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成23					
人間福祉学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成27					
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成27					
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成27					
健康栄養学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成27					
食物栄養学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成23					
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27					
生活情報学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成23					
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション 学)	-	-	-	平成23					
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-					

大学の名称	十文字	学園女子	子大学大	学院			学生募集停止学科教 ① 一年 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日						備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度			年度		
			人											
人間生活学研究科								-	-					
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士	1. 66	0. 50	-	平成28					
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0. 20	0.00	-	平成22	埼玉県 沢2丁		整市菅 番28号		
研究科全体	-	7	_	16	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<教育人文学部 幼児教育学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【令和	112年	度】	【令和	13年	度】	【令	和3年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
專	教授	担当授業科目名 材は 741 大宮 明子 (53) 「令和2年月> 博士 (53) 「令和2年月> 博士 (74) 「中士 (74) 「中立 (專	教授	担当规章科目名 材計 7-1 大官 99 中 (54) 大常 90 中 (54) 大常 20 中 (54) 大常 20 中 (54) 大常 20 中 (54) 大常 20 中 (54) 大学 2	專	教授	担当授業科目名 材は、741 大宮 明子 (55) (今和24月> 博士 (人間 4月) 博士 (人間 4月) 東立 (人間 4月) 東西 (本) 4	專	教授	担当授業科目名 材
專	教授	オケゲー 1かり 植田 (600 400	專	教授	オケア 1カリ (相田 (中) 1カリ (相田 (中) 1カリ (中)	專	教授	オケゲー は 1 かり	專	教授	オカゲ コカリ 相田 (63) (63) (63) (63) (63) (63) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74
專	教授	加原 (84) 川川 (84) 川川 (84) 川川 (84) 川川 (84) 川川 (84) (84) (84) (84) (84) (84) (84) (84)	專	教授	加タ リリカ	專	教授	加藤 開子 加藤 開子 (66) (名和2年月) (名和2年月) (名和2年月) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田)) (大田	專	教授	かけ、川川 加藤 門子 (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67)
專	教授	が「イケープ」」 上 (61) イケープ (61)	專	教授		專	教授	だ「イケープ」」 上 「(5(3) イケープ」」 上 「(6(3) イケープ」」 上 「(6(3) イケープ」 「(6(3) イケープープープープープープープープープープープープープープープープープープープ	專	教授	カミが イチ / ブ・コ 上 切 内 (64) (64) (64) (64) (64) (64) (7 年) (64) (7 年) (7
專	教授	対す。 正要 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	專	教授	子来 ボケニ ま美 (本の19年間) (本の19年間) (本	專	教授	74. エミ 東美 (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46)	專	教授	・
専	教授	がキャ (水口 弘	專	教授	が十 ヤルロ	專	教授	が十 体記 が 1 大田 1 大田	專	教授	双・キ ヤスに出 ・
		ガ・タ(ススズキ) ミズェ 長田 (鈴木) 瑞恵 (46) 〈令和2年4月〉 博士 (人文科学)			が 9 (スズキ) ミス゚ェ 長田 (鈴木) 瑞恵 (47) <令和2年4月> 博士 (人文科学)			が 9 (スス、キ) ミズェ 長田 (鈴木) 瑞恵 (48) <令和2年4月> 博士 (人文科学)			が 9 (スズキ) ミズェ 長田 (鈴木) 瑞恵 (49) <令和2年4月> 博士 (人文科学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 鮨) <就任(予定)年月> 保有学位等	専行 兼担 兼行		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		保有学位等 担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
専	教授	入門ゼミナール 子育室学報論※ 現現電子教育選挙 現理電子教育選挙 現電音が見発達 現場の見発 現場である。 現場である。 現場である。 現場である。 現場である。 はまれる。 はまれる。 ではなる。 ではなる。 をなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなな。 ではなな。 ではな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなる。 ではなな。 ではなな。 でななな。 でなな。 でなな。	専	教授	入門でミナール 子育でと環境 児童学演習 児童学演習 児童学が完法、 保育・教育心理 保育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育・教育	専	教授	入門ゼミナ環境 子園 (東京) (東re)	H	ij. :		入門ゼミナール 子 貴宝学議論※ 児童 学報音 児童童学教育選法 児童可能等 見報の見免 現外見免職 現外見免職 実 現所 現外見免職 表 現 の の の の の の の の の の の の の の の の の の
専	教授	が手 に下 名道(55) イ 名道(55) イ (55) イ (55) イ (55) イ (54) イ (54)	専	教授	サデキ は下油 名 (66) (77) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78	専	教授	が手 まで注 名道(57) 名道(57) (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57)	W	19.		が手 はデオ 名遣(58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58)
専	准教授	- /注 / //コ 一宮 紀子 (61) <奈和2年4月、 芸術学修士 入門ゼミナー 児童学版論※ 長官内容の指導法(音楽表現) 音楽表現起路 後官 音楽表現応用 幼児音楽職 保育、教職実践演習※ 卒業研究	専	准教授	ン(キ //)コ 一宮 紀子 (62) 全和244月> 芸術学修士 入門ゼミナール 児童学経論※ 長僧 百八章の 指導法 (音楽表 間別) 音楽表現基礎 前別音楽表表現 前別音楽表演論 保育・教職,実践演習※ 卒業研究	専	教授	- /2 村 // リコ - 一宮 紀子 (63) (今和2年4月) 芸術学修士 入門ゼミサール 児童学修士 入門ゼミサール 児童学総論※ 長俊百典部の指導法(音楽表現) 音楽表現応用 幼児音楽観 保育・教職実践演習※ 卒業研究	TAP	Ţ. (- /注 / //コ - 宮 紀子 (64) (64) (全和2年4月> 芸術学修士 人門ゼミナー 児童学総計画: 人門超等計画: 人門超等計画: 人門超等計画: 人門超等計画: 大門超等報題: 養育自義表現基礎技能 会業表現基礎技能 会業表現成用 の指導法(音楽表現) 音音光見。 後育內表記 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会業表現成用 の作者: 会養自內表記 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会
専	教授	は4(45) は 向井 (木(51) 向井 (木(51) (木(51) (水(51)) (x(51))	專	教授	山が(生む)美穂 向井 (141) 美穂 (141) 美穂 (142) 本の (142) 本の (142	専	教授	は(45) 注 向井 (木村) 美 (本大村) 美 (本元化年4月) 美 (本元化年4月) (本元化年4月	TMF	4		ム射(45a) 注 向井 (木木村) 美 市 (木木村) 美 市 (木木村) 美 市 (大木村) 美 市 (大木村) 美 市 (大木村) 美 市 (大木村) 美 市 (大木村) 美 市 (大木村) 大 市 (大大村) 大 市
專	教授	17 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37	專	教授	1907 1907	專	教授	ヤ田 (186) 17 (186) 17 (186) 17 (186) 17 (186) 17 (186) 18 (186)	W	.	教授	19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1
専	准教授	か ジアダ 権 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	専	准教授	卒業	専	准教授	か ジアグ (43) (43) (43) (43) (43) (43) (44) (43) (44) (44	¥		准教授	か ジアイ 権 (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44) (4

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	11		担当授業科目名			担当授業科目名
專	准教授	ボーキ・ルコ	專	准教授	第十 (4)3 子 (39) 4 (49) 4 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	專	准教授	双・キ・ルコ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	專	准教授	双洋 + M3 子 (41)
專	准教授	ツチ 森紀 (50) 4 日本紀 (50	専	准教授	明	專	准教授	ツリ 森	專	准教授	ツリ 辞 解記 は は は は は は は は は は は は は は は は は は
專	准教授	注// 7体 宮野 周 (41) (41) (41) (41) (42) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41									
専	准教授	ヤデキ シノボロウ 薮崎 (申一郎) (51) (今和2年4月) (今和2年4月) 人門世概論※ 長東南中空歌連論※ 後子さ楽表現忠の相違技能 会子さ楽表現忠の相談現 音音楽表現途 の保証を表現。 (子 で) (子) (子) (子) (子) (子) (子) (子) (子	専		ヤデキ・シ/4nn 薮崎 (52) (53) (54) (5	專		ヤデキシ/4707 藪崎 (伸一郎) (53) (令和2年4月) 棒士 (音楽) 入門世報論※ 長夏内容と歌唱書技 (音楽表現底 日楽表現成の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	專		ヤデキシ/4700 藪崎 (毎4) (5
專	准教授	31 (ハリ別) 比立子 (大会) (19 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	專	准教授	314 (ハッド) 比ロコ 横井 (展信制 株子 (展信制 株子 (展信制 株子 (展信制 44月 字) 人 (展信制 44月 字) 人 門童 24月	專	准教授	314 (ハナド) とロコ 横井 (銀 40 40 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41	專	准教授	314 (ハッド) とロコ 横井 (根4) とロコ 横井 (根4) とロコ 横井 (根4) と (4)
			*	講師	科 10% 30 金 九貞 (42) 〈令和2年4月> 修士 (社会科学) 入門ゼミナール	*	講師	林 10岁ョン 全 九貞 (43) 《令和2年4月> 修士 (社会科学) 入門ゼミナール 児童学報館 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 幼児教育基礎実置 現民教育	*	講師	44 10/132 全 九貞 (44) (44) (42) (42) (42) (42) (42) (44) (42) (42) (42) (42) (42) (43) (43) (44) (43) (43) (44)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	*	講師	担当授業科目名	*	請師	担当授業科目名
			*	講師	37'97 13 水島 ゆめ (34) 《幸和2年4月》 《全市2年(英術表現) 入門ゼミナル 考えて表現(造形)	*	献師	以「シアコメ 水馬」のめ (名称) (本称) (本称) (本称) (本本の) (本本o) (本本o) (本本o) (本本o) (本本o) (本o) (本o	*	講師	京パック ゴ 水島 ゆめ (36) 《全和2年4月》 修士(張術表現) 入門ゼミナル 考えて表現 (造形) 児童学報語 サイチャー・ワーク 表現機能 協予内容の指導法(造形表現) 進形使内容と表現 施予用でミナール
専	講師	79½、 9九1 渡邊 李枝 (33) (33) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	専	講師	別けい 加工 速遷 本法 (34) (34) (34) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4	專	講師	791ペ かれ 波遣 孝枝 (35) (全和2年月> 修士 (人文科学) 入門ゼミナール 身体運動 I 男生学編纂/ 天現紀年日子ともの生活と遊び※ 表現紀年日子ともの後、 後門内容の身体表現》 子ども表現 後官有容の身体表現》 侵害・破職・ 後官・ 等・ の場合である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	專	講師	791小、 951 波遣 孝枝 (36) (金和2年月> 修士 (人文科学) 人門ゼミナール 身体運動 1 男生学報論※ 天現総等に活と遊び※ 表現総等に得ちの身体表現) 子どもと身論※ 保育内容身体表現※ 保育の容り体表現※ 保育・張現職業(漢音)等では、 保育・研究・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
専	助教	コンドウ 14コ 近藤 有紀子 (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	專	助教	ンド ウ 対コ 近藤 有47 と 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	專	助教	コルドウ は2 近藤 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)	專	助教	3)ト・ウュはコ 近藤 # 和日子 (49) # 40 # 40 # 40 # 40 # 40 # 40 # 40 # 4
専	助教	ロ ショウケン 日 (32)2年4月 > オール (32)2年4月									
兼担	教授	79' チ カズ ヒサ 安達 一寿 (55) 〈令和2年月〉 博士 (教育字) コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート 漢習	兼担	教授	79 f カズ tサ 安達 一寿 (56) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) ユミュケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習	兼担	教授	75° f カズ ピサ 安達 ―寿 (57) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) コミュニク・ション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習	兼担	教授	75° チ カズ ヒザ 安達 一寿 (58) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) コミュニケション演習 絵をゼミナール キャリアサポート演習 総合料目
兼担	教授	(4/5° ロカ 飯田 路佳 (53) 〈令和2年4月〉 修士 (休育学) 女性の心と身体 身体運動 II	兼担	教授	(49° □5) 飯田 路佳 (54) 《令和2年4月》 修士(体育学) 女性の心と身体 身体運動 I	兼担	教授	(4) ロカ 飯田 路佳 (55) 〈令和2年4月〉 修士 (休育学) 女性の心と身体 身体運動 II 地報と人間生活	兼担	教授	(4)* ロカ 飯田 路佳 (56) 〈令和2年4月〉 修士 (体育学) 女性の心と身体 身体運動 I 地報と人間生活
兼担	教授	(75) 7) 7) 7 地川 繁樹 (63) (令和3年4月) 博士 (医学) 地域と人間生活	兼担	教授	(クカ゚ワ シヴキ 池川 繁樹 (全年13年4月) 博士(医学) 地域と人間生活	兼担	教授	イケが・ワージが・キ 池川 繁樹 (65) 全令和3年4月 博士 (医学) 地域と人間生活	兼担	教授	イケが ワ シヴ キ 池川 繁樹 (66) (66) (今和3年4月 博士 (医学) 地域と人間生活
兼担	教授	1/7 131 単代子 (58) マ	兼担	教授	1/77 1/31 地間 里代子 (59) 全 (59) 2 (59)	兼担	教授	1972 1931 油間 里代子 (60) <令記2年4月 > 文学修士 東金入門ゼミナール 中国語 I a 中国語 I B P B B B B B B B B B B B B B B B B B	兼担	教授	1/77 1/31 油間 里代子 (向1) マネル2年4月 > 文字修士 東全人門ゼミナール 中国語 I a 中国語 I B P B B I B P B B I B B B B B B B B B
兼担	教授	(ジ) エ(行 石野 英一 (会計) (会和2年月> 法学士 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン フロアクティブ人材育成	兼担	教授	(注)/ 14(f 石野 美一 (62) (令和2年4月> 法学士 海蝶で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイ ンプロアクティブ人材育成	兼担	教授	(ジ) 1(付 石野 衆一 (令) (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会	兼担	教授	(ジ) 1(付 石野 架- (64) (令和2年月> 法学士 海域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン フロアクティブ人材育成

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	兼担	教授	担当授業科目名	兼担	教授	担当授業科目名	兼担	教授	担当授業科目名
						兼担	教授	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	兼担	教授	対行 行外 大倉 智也 (60) 〈令和3年4月〉 農学博士
兼担	教授	材料: 342 大友 由配子 (56) 〈令和2年4月〉 文学修士 キャリアデザインとライフブラ ン	兼担	教授	材代 343 大友 由紀子 (57) <令和2年4月> 文学修士 キャリアデザインとライフ ブラン	兼担	教授	材代 142 大友 由紀子 (58) <令和22年4月> 文学修士 キャリアデザインとライフブラ ン	兼担	教授	材代 343 大友 由配子 (59) 〈令和2年4月〉 文学修士 キャリアデザインとライフブラ ン
									兼担	教授	対ヤ とロキ 大山 博奉 (52) 〈令和4年4月〉 修士(教育学) 総合科目
						兼担	教授	が計 7キtロ 関本 明確 (54) (54) (◆会和3年4月> 修士(リハビリテーション) 特別支援教育報論	兼担	教授	が計 7年に 関本 明確 (55) (55) (今和3年4月> 修士(リハビリテーション) 特別支援教育報論
			兼担	教授	がマフ27年 風間 文明 (54) 《全和2年4月》 修士(心理学) 自主社会活動	兼担	教授	がマフス件 風間 文明 (56) 《中和2年月》 多士(心理学) 自主社会活動	兼担	教授	がマフド 風間 文明 (58) 《令和2年4月》 修士(心理学) 自主社会活動
兼担	教授	かけず ヒデト 片居木 英人 (56) <令和2年4月> 政治学修士 ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	が4だ にでト 片居木 英人 (57) 〈令和2年4月〉 政治学修士 ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	がげ、ピアト 片居木 英人 (58) 〈令和2年4月〉 政治学修士 ジェンダーソテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	が代 ヒデト 片居木 英人 (59) 〈令和2年4月〉 政治学修士 ジェンダーリテラシー 〈らしのなかの日本国憲法
兼担	教授	がリーカゲ 神野 浩二 (54) (令和244月> 修士 (教育学) 藤主 入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学	兼担	教授	加リ コウ・ 押野 浩二 (55) (55) (57) (57) (6年 (教育学) 藤本入門ゼミナール 地域で学ぶ教育 (1世 (教育学) (1世 (教育学) (1世 (教育学) (1世 (教育学)	兼担	教授	カリノコヴ/ 狩野 浩二 (56) (本和244月> 修士(教育学) 藤主入門ゼミナール 地域で学ぶ 2十世科学 (本年)	兼担	教授	カリ コウゲ 狩野 浩二 (57) 今和2(年4月> 修士 (教育学) 読事入門ゼミナール 地域で学ぶ 21 世紀型の教育 教合ゼミナール
兼担	教授	†9/17 シェン/行 北原 俊一 (52) <令和2年4月> 博士 (理学) 情報処理漢習 I 情報処理漢習 I	兼担	教授	+3n5 → 2n2/f 北原 俊一 (53) (令和2年4月> 博士 (理学) 情報処理漢書 I 情報処理漢書 I	兼担	教授	村ハラ シュン/f 北原 俊一 (54) 〈令和2年4月〉 博士 (理学) 情報処理漢書Ⅰ 情報処理漢書Ⅱ	兼担	教授	キタルラ シュンイチ 北原 俊一 (55) 〈令和2年4月〉 博士 (理学) 標準処理漢型 I 情報処理漢習 I
兼担	教授	つか" (分計) HEE 向後 (田中) 開美 〈令和2年4月〉 文字修士 コミュニケーション演習 芸語コミュニケーション演習 アドバンスト・リスニング	兼担	教授	つか」(97か) HE 向後(田中) 朋美 (今和2年4月> 文学経ナ コミュニケーション演習 表記・2 年一ケーション 6 男 アドバンスト・リスニング	兼担	教授	701 (7th) HE 向後 (田中) 開美 (全部に 155 開	兼担	教授	791 (9th) HE 向後 (田中) 開美 (566) (567) (567) (567) (778
兼担	教授	サイサ シリア									
兼担	教授	サリ 7号 佐藤 陽 (57) 令和2年4月> 修士(社会福祉学) ボランティア論	兼担	教授	サウ 745 佐藤 陽 (58) <令和2年月> 修士(社会福祉学) ボランティア論	兼担	教授	サウ 7キラ 佐藤 陽 (59) 《令和2年月> 修士(社会福祉学) ボランティア論	兼担	教授	サトウ 745 佐藤 陽 (60) <今和2年4月> 修士 (社会福祉学) ボランティア論

専任 兼担		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	l 📖		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	ッパラ (マオ) zůn 設案 (松尾) 優子 (54) (本和2年4月> 修士 (文字) コミュニケーション演習 英語 I b アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 T O E I C対策講座	兼担	教授	が (マオ) かつ 数乗 (MER) 優子 (S5) 女舎 (S5) く令和244月 修士 (文学) 英語 1 マドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOE 1 C対策講座 アドバンスト・リーディング	兼担	教授	対う (マガ) かコ 放棄 (松尾) 優子 く(56) く令和2年4月> 修士 (文学) マキュニケーション演習 英語 1b アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策映施 アドバンスト・リーディング	兼担	教授	ッ方 (マオ) かか 数案 (松尾) 優子 くち2(57) く今和2年4月> 修士 (文学) 支話 1a 交話 1a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOE 1 C 対策調度 アドバンスト・リーディング
兼担	教授	ッテ ウリワ sheila Cliffe (51) (51) (51) (51) (51) (51) (51) (51)	兼担	教授	テラ がり から がら がら がら がら						
兼担	教授	# th 301 杉元 葉子 (60) 〈令和3年4月〉 工学修士 課題解決ゼミナール	兼担	教授	が 計 3ウz 杉元 葉子 (61) < 令和2年4月 > 工学修士 課題解決ゼミナール 総合料目	兼担	教授	ボギ まり ヨウコ 杉元 葉子 (62) < 令和2年4月 > エ学修士 課題解決ゼミナール 参合料目	兼担	教授	がでも 3ウコ 杉元 葉子 (63) <令和2年4月> 工学修士 課題解決ゼミナール 参合料目
兼担	特任教授	9ht がけ 高谷 和成 (60) 〈令和3年月> 農学士 地域と人間生活	兼担	特任教授	9かり かがけ 高谷 和成 (61) (今和3年4月) 農学士 地域と人間生活	兼担	特任教授	9かり ねごりり 高谷 和成 (62) <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活	兼担	特任教授	9かり がごり 高谷 和成 (63) 《令和3年月》 農学士 地域と人間生活
兼担	教授	かう 7キラ田倉 昭 62 (62) (今和3年月> 1時土 (理学) キャリア基礎カ I	兼担	教授	975 745 田倉 昭 (63) <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎カI	兼担	教授	かうう 745 田倉 昭 (64) 〈令和3年4月〉 博士(理学) キャリア高級カエ			
			兼担	特任教授	対/か	兼担	特任教授	サバケ 対象 竹之内 巻 〈令和2年4月〉 文学士 コミュニケーション基礎の 美麗コミュニケーション基礎の 美麗コミュニケーション路内	兼担	特任教授	サバケ 対4 竹之内 巻 ・ 令和2年4月> 文字士 コミュニケーション基礎。 美国コミュニケーション基礎。 美国コミニケーション基礎 万 0 E I C 対策線を T 0 E I C 対策線を アドバンス・リーディング 美国コミニケーション発展を 美国コミニケーション発展を 美国コミニケーション発展を
兼担		が十 19/년 棚谷 祐一 (57) 〈令和2年4月〉 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎カⅡ	兼担	教授	9計 1917 棚谷 祐一 (58) 〈令和2年4月〉 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎カⅡ	兼担	教授	9計 10付 棚谷 祐一 (59) <令和2年4月> 芸術学修士	兼担	教授	9寸ヤ ユウイチ 棚谷 祐一 (60) <令和2年4月>
兼担	教授	9プサ ケイコ 田総 恵子 (62) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米国) 持続可能な社会	兼担	教授	9,7 * 7/1 田総 恵子 (63) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米 園) 持続可能な社会	兼担	教授	97 [*] サ か4 田総 恵子 (64) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米国) 持続可能な社会	兼任に変		
									兼担	教授	が、/リコ 並 典子 (61) 〈令和4年4月〉 博士 (農学) 地域と人間生活
兼担	教授	7/5 アデー 角田 東二 (58) 〈令和2年4月〉 工学修士 読書入門ゼミナール 情報処理漢習 I 情報処理漢習 I	兼担	教授	7/5・シンデ 角田 真二 (59) 〈中和2年4月〉 工学修士 終書入門ゼミナール 情報処理演習 I 情報処理演習 I	兼担	教授	7/5 シジ 角田 真二 (60) <令和2年4月> 工学修士	兼担	教授	7/5' シジ 角田 真二 (61) 《令和2年月》 工学修士
						・兼担	教授	#1○ ## 中西 都 (62) (62) (62) (62) (63) (62) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63	兼担	教授	
									兼担	教授	73Å5 予5'コ 中村 被子 (64) 〈令和4年4月〉 後士 (医学) 地域と人間生活

専任・			専任・			専任・			専任・	I -	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	教授	がマッパオ 中山 成夫 (67) (令和3年4月) 経済学士 総合科目	兼担	教授	†がで ジデオ 中山 成夫 (68) (令和3年4月) 経済学士
					##.= r=.						
			兼担	教授	サゲラ ヒデコ 名倉 男子 (64) <令和2年4月> 博士 (学術) 総合科目	兼担	教授	サゲラ ヒデコ 名倉 男子 (65) <令和2年4月> 博士 (学術)	兼担	教授	ナがう ヒデコ 名意 秀子 (66) 〈令和2年4月〉 博士 (学術)
								•			キャリアサポート演習 キャリア基礎力 I キャリア基礎力 I ナリヤ とロフミ
									兼担	教授	成谷 宏文 (54) <令和4年4月> 博士 (農学) 地域と人間生活
								//y* /=tu 羽田 邦弘			//)* //-tn 羽田 邦弘
						兼担	教授	(83) <令和2年4月> 修士(教授システム学) 課題解決ゼミナール 教会科目 21世紀型の教育	兼担	教授	(64) <令和3年4月> 修士(教授システム学) 課題解決セミナール 総合科目 21世紀型の教育
								21世紀型の教育			21世紀型の教育 総合ゼミナール
兼担	教授	tグチ カズタカ 樋口 一貴 (49) <令和2年4月> 修士 (美学)	兼担	教授	ヒグチ カズタカ 樋口 一貴 (50) <令和2年4月> 修士(美学)	兼担	教授	tが f カズ タカ 樋口 一貴 (51) <令和2年4月> 修士 (美学)	兼担	教授	tグチ カズタカ 樋口 一貴 (52) <令和2年4月> 修士 (美学)
		読書入門ゼミナール 芸術を読みとる			被害入門ゼミナール 芸術を読みとる		2002	族書入門ゼミナール 芸術を読みとる			映像入門ゼミナール 芸術を読みとる
兼担	教授	t 59	兼担	教授	上59 F74 平田 智秋 (50) <令和2年4月> 博士 (体育科学)	兼担	教授	b59	兼担	教授	
		河 淬连则 1			799° ヒトシ			799° E69			No. les comments
			兼担	教授	福田 仁 (65) <令和2年4月> 英語学修士	兼担	教授	福田 仁 (66) <令和2年4月> 英語学修士 英語:a			
		7t ∧N≥			英語 I b 7t NAS			英語 i a 英語 i b ビジネス英語 映画・ドラマ英語			
兼担	教授	布施 晴美 (56) (56) (今和2年4月> 修士 (リハピリテーション) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 (57) 〈令和2年4月〉 修士 (リハビリテーション) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 (58) 〈令和2年4月〉 修士 (リルピリテーション) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体			
		ホン/ 773 星野 敦子 (57) <令和2年4月>			杉/ 7 ⁹ □ 星野 敦子 (58) <令和2年4月>			ポンノ アツコ 星野 敦子 (59) <令和2年4月>			ホン/ アツコ星野 敦子(60)〈令和2年4月〉
兼担	教授	博士 (学術) 地域で学ぶ 教育方法	兼担	教授	博士 (学術) 地域で学ぶ 教育方法 総合科目	兼担	教授	博士 (学術) 地域で学ぶ 教育方法 参合科目 保育側度・保育政策論	兼担	教授	博士 (学術) 地域で学ぶ 教育方法 総合科目 保育制度・保育政策論
						-		#ソヤ タタ゚シ 細谷 忠司			#27 95°9 観谷 忠司
						兼担	教授	(61) <令和3年4月> 教育学修士 人間理解ワークショップ	兼担	教授	(62) (62) (令和3年4月> 教育学修士 人間理解ワークショップ
		マツオカ タカアキ 松岡 敬明 (64)			マツオカ 5カアキ 松岡 敬明 (65)			7%			
兼担	教授	(044) <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション演習	兼担	教授	(85) <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション演習	兼担	教授	(907) <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション漢書			
		7755 シュウイチ 松永 修一 (55)			マツナガ シュウイチ 松永 修一 (56)			マワナカ シュウイチ 松永 修一 (57)			マツナが シュウイチ 松永 修一 (58)
兼担	教授	< 令和2年4月 > 修士 (文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動	兼担	教授	< 令和2年4月 > 修士(文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動	兼担	教授	< 令和2年4月 > 修士 (文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動	兼担	教授	< 令和2年4月> 修士(文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動
		日本社会/日本 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン ブロアクティブ人材育成			日エゼス/日朝 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成			日本社会局別 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン ブロアクティブ人材育成			日本社会の制 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン ブロアクティブ人材育成 海外語学研修 映像入門ゼミナール
兼担	教授	77Fト 7キコ 松本 晃子 (555) <令和2年4月> 修士 (家政学)	兼担	教授	77F 7F3 松本 晃子 (56) <令和2年4月> 修士(家政学)	兼担	教授	77F1 7F1 松本 晃子 (57) <令和2年4月> 修士 (家政学)	兼担	教授	7751 743 松本 晃子 (58) <令和2年4月> 修士 (家政学)
ens disi		キャリアデザインとライフブラ ン	Part Mini		キャリアデザインとライフ ブラン 総合料目			キャリアデザインとライフブラン 総合科目	200		キャリアデザインとライフブラ ン <mark>総合科目</mark>
_	_	_	_	_		_	_				

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	l		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	ヤでも 外は 山本 悟 (62) (今和2年4月> 体育学修士 身体運動 II	兼担	教授	ヤマモ・サル 山本 悟 (63) (今和2年4月> 体育学修士 身体運動 II	兼担	教授	ヤ7E1 サNs 山本 悟 (64) 《令和2年4月》 候育学修士 身体運動 II	兼担	教授	ヤでも、サル 山本 悟 (65) <令和2年4月> 体育学修士 身体運動Ⅱ
兼担	教授	おが、 トが 吉田 亨 (65) 〈令和2年4月〉 保健学博士 地域と人間生活 共生社会入門	兼担	教授	399 材料 吉田 亨 (66) 今和2年4月> 侯健学博士 地域と人間生活 共生社会人門	兼担	教授	399	兼担	教授	3)が、計か 吉田 亨 (68) (今和2年4月ン 保健学博士 地域と人間生活 共生社会入門
兼担	教授	3½F) が ¹ 好本 惠 (65) 〈令和2年4月> 文学士 読書入門ゼミナール	兼担	教授	3/4ト が ミ 好本 恵 (66) (今和2/44月> 文学士 映書入門ゼミナール	兼担	教授	374ト が : 好本 惠 (67) 〈令和2年4月> 文学士 映書入門ゼミナール	兼担	教授	374ト が ミ 好本 惠 (68) 〈令和2年4月〉 文学士
兼担	教授	794 7世7 総井 雅康 (517) (517) (517) (518) (519) (5	兼担	教授	79イ で针な 綿井 雅康 (588) (5	兼担	教授	79イ 7钟収 網井 雅康 (59) (59) (本和2年4月> 教育学修士 人間関係とコミュニケーション 参 企料目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	794 7世末 総井 雅康 (60) (61) (62) (62) (62) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63
兼担	准教授	7 [*] (コケ* 4) 7: 阿部 (神崎) 史 (44) (今和2年4月> 修士 (法学) リーガルリテラシー									
兼担	准教授	7代 サクラコ 綾井 桜子 (47) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	7 ¹ イ サ ¹ 7 ¹ 7 綾井 桜子 (48) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	7 ¹ (サ571 綾井 桜子 (49) 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 藤 <mark>舎入門ゼミナール</mark>			
			兼担	准教授	(445 列)	兼担	准教授	(445 列リ) 無対 九林 (39) 〈令和2年4月〉 博士 (水虚料学) 読書入門ゼミナール 総合科目	兼担	准数授	4(おう かり) 飯村 九林 (4(の) (全和2年4月) 博士 (水虚科学) 勝奪入門ゼミナール 総合科目
兼担	准教授	(2)か7 5か2 石川 08史 (42) <令和2年4月> 修士 (図書館情報学) 誘書入門ゼミナール	兼担	准教授	(分約7 分か) 石川 敬史 (43) (今和2年4月> 修士(図書館情報学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	(シカワ ウカン 石川 敬史 (44) 〈令和2年4月〉 修士 (図書館情報学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	(7/m) 9/m) 石川 敬史 (45) (今和2年4月> 修士(図書館情報学) 藤書入門ゼミナール
			兼担	准教授	(745) 10月 石田 (今村) 有理 (39) 〈令和2年4月〉 博士 (人文科学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	(ヤが (1745) 10月 石田 (今村) 有理 (40) 〈令和2年4月〉 博士 (人文科学) 聴奮入門ゼミナール	兼担	准教授	(ウゲ (イル5) ユが) 石田 (今村) 有理 (利) (今和2年4月) 博士 (人文科学) 膝書入門ゼミナール
兼担	准教授	#打イマュ 落合 真裕 (39) 〈令和2年4月〉 修士 (文学) コミュニケーション演習 誘書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	# 77 マ1 落合 真裕 (40) (40) (40) (40) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	兼担	准教授	#77/ 71 落合 真裕 (41) (全令和2年月> 修士 (文学) コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##
兼担	准教授	が、/ リョウコ 視野 涼子 (44) <令和3年4月> 修士 (栄養学) 食の科学	兼担	准教授	が/ リョウコ 梶野 涼子 (45) <令和3年4月> 修士 (栄養学) 食の科学	兼担	准教授	が/ リョウコ 概野 源子 (46) 〈令和3年月〉 修士(栄養学) 食の科学 験書入門ゼミナール	兼担	准教授	が/ リョウフ 概野 涼子 (47) (今和2年4月> 修士(栄養学) 食の科学 験書入門ゼミナール
兼担	准教授	がけ 7キコ 加藤 暁子 (54) 〈令和3年4月〉 修士 (3シェケーション学) 課題解決ゼミナール									
兼担	准教授	カトウ リョウスケ 加藤 亮介 (38) 〈令和2年4月〉 博士 (芸術学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	カトウ リョウスケ 加藤 亮介 (39) 〈令和2年4月〉 博士 (芸術学) <mark>映書入門ゼミナール</mark>						

		氏 名 (年 齢)	専任 兼担		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(井 厨) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	〈就任 (予定) 年月〉 《就任 (予定) 年月〉 保有学位等	兼任の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	_		担当授業科目名
							***	神山 真澄 (47) <令和3年4月>		***	旅行 マスミ 神山 真澄 (48) <令和3年4月>
						兼担	推教授	博士 (選挙) 総合科目 食の科学	兼担	推教授	博士 (理学) 総合科目 食の科学
兼担	准教	カワゲチ ヒデドシ 川口 英俊 (50) <令和2年4月> 修士 (法学)	兼担	准教	カワケ・チ ヒデ・ドシ 川口 英俊 (51) <令和2年4月> 修士 (法学)	兼担	准教	ががず じず トシ 川口 英俊 (52) <令和2年4月> 修士 (法学)	兼担	准教	ががましてらい 川口 英俊 (53) <令和2年4月> 修生 (法学)
71172	授	読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	7.1.7.	授	読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	71172	授	族會入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	71152	授	読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	がす 3か3 久保田 業子 (47) <令和2年4月> konzertdiplom(ドイツ) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	が 9 3ウコ 久保田 葉子 (48) 〈令和2年4月〉 konzertdiplom (ドイツ) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	がり 3カコ 久保田 葉子 (49) <令和2年4月> konzertdiplom(ドイツ) 該書入門ゼミナール	兼担	准教授	が 9 3ウ3 久保田 葉子 (50) <令和2年4月> konzertdiplom (ドイツ) 藤舎入門ゼミナール
兼担	准教授	コパジ 計 古明地 夕佳 (50) 〈令和3年4月〉 博士 (学術) 地域と人間生活	兼担	准教授	コメイゲ セ特 古明地 夕佳 (51) 〈令和3年4月〉 博士 (学術) 地域と人間生活	兼担	准教授	コパジ 柱力 古明地 夕佳 (52) 〈令和3年月〉 博士 (学術) 地域と人間生活	兼担	准教授	3549
		F)/ 173			► 1/1 ±/12			F9/ 193			F9/ 173
兼担	准教授	徳野 裕子 (47) (47) (今和2年4月> 修士(学術) 女性と健康 食と発達	兼担	准教授	(48) (48) (令和2年4月> 修士(学術) 女性と健康 食と発達	兼担	准教授	(49) (49) (令和2年4月> 修士 (学術) 女性と健康 食と発達 地域と人間生活	兼担	准教授	(55) (50) (今和2年4月> 修士(学術) 女性と健康 食と発達 地域と人間生活
						_		心場と人間工店			とは、303 人見 優子
									兼担	准教授	(49) <令和4年4月> 修士 (心身健康科学) 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	ボバ 171 星野 祐子 (41) 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) 日本語検定対策講座	兼担	准教授	ポ// 1ウ1 星野 祐子 (42) <令和2年4月> 博士 (人文科学) 日本語検定対策講座	兼担	准教授	ポン/ コウコ 星野 祐子 (43) 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) 日本語検定対策講座	兼担	准教授	*>/ ユウコ 星野 祐子 (44) <今和2年4月> 博士 (人文科学) 日本部後定対策議座
		ミフシ * ア サミ			総合科目			総合科目 課題解決ゼミナール *75/ 7#*			総合科目 課 履解決ゼミナール ミフジ・アサミ
兼担	准教 授	三藤 あさみ (56) <令和2年4月> 修士 (教育学) 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	ミフジ 7 押号 三藤 あさみ (57) 〈令和2年4月〉 修士(教育学) 孫孝入門ゼミナール	兼担	准教 授	ミフジ・ア学ミ 三藤 あさみ (58) <令和2年4月> 修士(教育学) 除書入門ゼミナール	兼担	准教授	三藤 あさみ (59) 〈令和2年4月〉 修士 (教育学)
											ヤマザ・キ ユウコ 山崎 優子
									兼担	准教授	(47) 〈令和4年4月〉 博士(栄養学) 総合科目
						兼担	講師	41ウ ミホ 伊藤 美雄 (44) <令和3年4月> 修士 (家政学)	兼担	講師	(10) 注 伊藤 美雄 (45) 〈令和3年4月〉 修士(家政学)
								腕書入門ゼミナール 総合料目			映像入門ゼミナール 総合科目
		イナダ トモアキ 稲田 朋晃 (44) <令和2年4月> 博士 (学術)			(†9' トモアキ 稲田 朋晃 (45) <令和2年4月> 博士 (学術)			イナゲ トモアキ 稲田 朋晃 (46) <令和2年4月> 博士 (学術)			(†9° ►17° ↑ 稲田 朋晃 (47) <令和2年4月> 博士 (学術)
兼担	講師	総合日本語 I a 総合日本語 II a 総合日本語 II a 日本語表現技術 II 日本語表現技術 IV 日本語研究 E(医療・福祉専	兼担	講師	総合日本語 I a 総合日本語 II a 総合日本語 II a 日本語表現技術 II 日本語表現技術 IV 日本語研究 E (医療・福祉	兼担	講師	総合日本語Ia 総合日本語IIa 総合日本語IIa 日本語表現技情II 日本語表現技情IV 日本語表現技情IV	兼担	講師	総合日本語 I a 総合日本語 II a 総合日本語 II a 組合日本語 II a 日本語表現技術 II 日本語表現技術 IV 日本語研究 E (医療・福祉専
		門) 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 I 日本語集中講座(編入)※			専門) 日本医物力試験対策調整 I 日本医物力試験対策調整 I 日本語集中講座(編入)※ 総合日本語 I b 日本語表型技術 日本語研究A(時事 I)			四) 日本事態力試験対策機整1 日本語能力試験対策機整1 日本語集中語整(編入)※ 総会日本器1-b 日本部の現状情報 日本部の現代(胸帯 1) 総合日本新工 b			四) 日本語傳力試験対策調整 I 日本語集中講座(編入)※ 程令日本語》 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語表現技術
									兼担	講師	お竹 から 関山 陸美 (47) (今和4年4月> 修士(人間科学) 人間理解ワークショップワーク ショップ
								がり スミコ 鳴下 選子 (45) <令和3年4月>			がかり スミコ 第下 造子 (46) <令和3年4月>
						兼担	糖師	< 市和3年4月2 博士 (栄養学) 地域と人間生活 会と発達	兼担	講師	くち和の年4月~ 博士(栄養学) 地域と人間生活 食と発達 読書入門ゼミナール

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼担	講師	担当授業科目名 かが 22 ² 2 ² イ 神田 俊平 (32) (令和24月 > 修士(体育科学) 身体運動 I	兼担	講師	担当授業科目名 かが、シュンペイ 神田 俊平 (33) (令和2年4月> 修士(体育科学) 身体運動 II 映客人門ゼミナール	兼担	講師	担当授業科目名 かが 22かイ 神田 俊平 (34) 〜令和24月> 修士(体育科学) 身体運動 I 大きればモナール	兼担	講師	担当授業科目名 カップ シュン・イ 神田 俊平 (35) 〈参紅2年4月〉 修士 (体育科学) 身体運動 II 映書人門ゼミナール
兼担	講師	+:ウ >vt1ン 仇 明芸 〈令和2年月> 博士 (国際文化) 誘書入門ゼミナール 中国語 II a 中国語 II b	兼担	講師	+1分 (水柱) (水 (現在) (水 (現在) (水 (現在) (水 (水 (兼担	講師	+10 シャイコン の 映芸 (全和2年4月> 博士 (国際文化) 神母―田祖ミナール 中国器・Te 会会科目 美麗 I a 美麗 I b	兼担	講師	1:1) シャオコン 仇 映表 〈令和2年4月> 博士 (国際文化) 神事八月ゼミナール 中国第11年 総令科目 英語11年 英語11年 英語11年
						兼担	講師	対が かか 高田 健人 (34) 〈令和3年4月〉 博士 (健康科学) 地域と人間生活	兼担	講師	対対 かト 高田 健人 (35) 〈令和3年4月〉 健康科学(博士) 地域と人間生活
									兼担	禁師	対す。 ≒X* 本 賞田 連稿 (46) 〈令和4年4月〉 博士 (障害科学) 読書入門ゼミナール
兼担	講師	Hjj' I シュ' 鳥越 信吾 (33) 今和2年4月> 博士 (社会学) 読書入門ゼミナール 数合ゼミナール キャリア基礎カ I	兼担	講師	トリコ'I シソコ' 鳥越 信吾 (34) (今和2年4月> 博士 (社会学) 読書/門ゼミナール 総合ゼミナール ギャリア基礎カ I	兼担	講師	ドリンゴ シンゴ 島越 信吾 (35) (35) (45 年4月 14 任金学) (45 年7	兼担	講師	ドリコ' I シソコ' 鳥越 信吾 全名(102年4月 > 博士 (社会学) 読書入門ゼミナール 数合ゼミナール キャリア基礎カエ
						兼担	鉄師	†対対 対エ 中間 加索教 (28) 〈令和3年4月〉 修士(家庭学) 読書入門ゼミナール	兼担	講師	†対対 対t 中間 加索絵 (29) 〈令和3年4月〉 修士(家政学) 読書入門ゼミナール
兼担	講師	エイジマ ヨシエ 新嶋 良恵 (36) <今和2年月> 修士 (社会学) 読書入門ゼミナール	兼担	講師	- (ゲマ 3)I 新倫 良恵 (37) (今和2年4月> 修士 (社会学) 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	講師	- (ゲィ 3) は 新嶋 良恵 (38) 〈令和2年月> 修士 (社会学) 族書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	講師	- 14/7 で 3シェ 新嶋 良恵 (39) (今和2年4月> 修士 (社会学) 藤舎入門ゼミナール グローバル社会
			兼担	計師	/ダ ヒデコ 野田 日出子 (45) (全和2年4月> 修士(保育学) 酸香入門ゼミナール	兼担	講師	/9" 上で"コ 野田 日出子 (46) 〈令和2年4月〉 修士(保育学) 陳書入門ゼミナール	兼担	計師	//* ヒデコ 野田 日出子 (47) 〈令和2年4月〉 修士 (保育学) 阪舎入門ゼミナール
						兼担	講師	77.9* 外2 増田 早歳子 (47) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48	兼担	講師	73が 針1 増田 早級子 (48) (本和30年4月> 博士(心理学) 人間理解ワークショップ
兼担	講師	ミヨシ ヒデ ヒコ 見吉 英彦 (32) 〈令和2年4月〉 博士 (経営学) 読書入門ゼミナール	兼担	講師	33) ヒデヒコ 見吉 英彦 (33) (全和2年4月) 博士(経営学) <mark>読書入門ゼミナール</mark>	兼担	講師	ミヨシ ヒデ ヒコ 見吉 英彦 (34) 〈令和2年4月〉 博士 (経営学) 除書入刊ゼミナール 企業に学ぶキャリアデザイン	兼担	講師	注:
						兼担	講師	サケフ 7キコ 八数 高子 (44) (全和3年月> 学士(体育学) 総合科目	兼担	請師	サワ 7和 八歳 高子 (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45)
									兼担	請師	*/ */1 失野 量子 《令和/年4月》 修士 (家歌学) 総合科目
兼担	講師	ヤジウ 14/ 山下 悠貴乃 (31) 《令和2年月》 修士(國際学) 総合日本語II b 総合日本語II b 総合日本語II b 日本語表現技術I 日本語表現技術I 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	ヤック 14/ 山下 悠貴力 (会別) (会和2年4月) 修士 (国際学) 総合日本語目 b 総合日本語目 b 総合日本語画由 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語集中遺産 (編入) ※ 日本語表現技術 日本語表現技術 日本語の文化(中本)	兼担	講師	ヤジタ 14/ 山下 悠貴乃 (33) 〈令和2年4月〉 修士 (国際学) 総合日本語II b 総合日本語II b 総合日本語II b 場合日本語II b 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語表現技術II 日本語研究人 (神事 I)	兼担	講師	†7ジ 14/ 山下 悠貴乃 (34) 〈令和2年4月〉 修士 (国際学) 総合日本語II b 総合日本語II b 総合日本語II b 場合日本語II b 日本語集政権II 日本語集政権II 日本語集政権II 日本語集政権II 日本語集中課権(編入) ※ 日本語映政後 II 日本語映政後 II 日本語典政後 II 日本語典政権 II 日本語和政権 II 日本語典政権 II 日本語和政権 II 日本語和和政権 II 日本語和政権 II 日本語和和

専任・			専任・			専任・		1	専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	氏 名 (任 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
兼担	講師	担当授業科目名	兼担	講師	担当授業科目名	兼担	講師	担当授業科目名	兼担	講師	担当授業科目名
兼担	講師	75tパ 74t 渡辺 章夫 (41) 〈令和3年4月〉 博士 (震学) 地域と人間生活	兼担	講師	79t小 74t 渡辺 章夫 (42) 今和2年4月> 博士 (農学) 除書入門ゼミナール	兼担	講師	791パ 744 渡辺 章夫 (43) 《令和2年4月》 博士 (康学) 験事入門ゼミナル 地域と人間生活	兼担	講師	79th、74t 渡辺 章夫 (44) <令和2年4月> 博士 (農学) 膝拿入門ゼミナール 地域と人間生活
兼担	助教	カラウカ ミサキ 倉若 美咲樹 (27) <令和3年4月> 修士 (栄養学) 地域と人間生活	兼担	助教	り579h : 94 倉若 美咲樹 (28) 〈令和3年4月〉 修士(栄養学) 地域と人間生活	兼担	助教	757か ミサキ 倉若 美奘樹 (29) 〈令和3年4月〉 修士 (栄養学) 地域と人間生活	兼担	助教	カラフカ : 計井 倉若 美味樹 (30) <令和3年4月> 修士 (栄養学) 地域と人間生活 飲書入門ゼミナール
兼担	助教	#J/ クカコ 掲井 貴子 (34) 〈令和3年4月〉 修士 (栄養学) 食と発達	兼担	助教	#J/イ タカコ 堀井 貴子 (35) <令和3年4月> 修士(栄養学) 食と発達						
						兼担	助教	24'77: 年12 管原 炒度子 (30) <令和3年4月> 博士(選挙) 金の科学	兼担	助教	21 75 年12 曹原 炒恵子 (31) <令和3年4月> 博士(農学) 金の科学 総合科目 融管入門ゼミナール
			兼任	講師	7キヤ 1キュ 牧山 まき子 (57) (今和2年4月) 歩士(書語学 下OE I C対策議座	兼任	講師	7キヤマ キュ 秋山 まき子 (会称2年4月> 多士(實際学記50人) 言語学 音声 学) 〒OEIC対策議座	兼任	講師	7キャ キュ 秋山 まき子 (59) (令和2年4月> 修士(言語学TESU)、言語学 音声 デモーC対策構施
兼任	講師	79° f to14 安達 宏之 (50) (今和2年4月〉 法学修士 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	79° f とロは 安達 宏之 (51) <令和2年4月> 法学修士 多様性と倫理 くらしのなかの日本国際法	兼任	講師	79° + ta14 安達 宏之 (52) 〈令和2年4月〉 法学修士 多様性と他なかの日本国際法	兼任	講師	75° f とロ4 安達 宏之 (53) <令和2年4月> 法学修士 多様性と倫理 くもしのなかの日本国権技
						兼任	講師	794 795 荒井 (田中) あさ書 (50) 〈令和3年4月〉 修士 (国際学) 日本語研究A (時事 I)	兼任	請師	754 754 荒井 (田中) あさ者 (51) 〈令和3年4月〉 修士 (国際学) 日本語研究A (時事 I)
						兼任	講師	4か* 号 池辺 早良 (25) 〈令和3年4月〉 修士 (文学) TOEIC対策調査	兼任	請師	47 ^(*) 等7 池辺 年長 (26) 〈令和3年4月〉 修士 (文学) TOE I C対策 講座
兼任	講師	(予約) セワコ 市川 節子 (56) 〈令和2年4月〉 芸術学士 音楽表現応用 音楽表現応用	兼任	講師	(手約7 セワコ 市川 節子 (57) <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現応用	兼任	講師	(ff) セソコ 市川 節子 (58) 〈令和2年4月〉 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	(ffか ピリコ市川 節子(59) (今和2年4月) 芸術学士 音楽表現応用
									兼任	講師	(757 (95/n*) 1月1 市川 (憲辺) ゆりえ (40) く令和4年4月> 棒士 (学術) インターネット英語 ビジネス英語 映画・ドラマ英語
						兼任	講師	ウスイ 付付 日井 庫也 (名) (今和3年月> 修士(第四・地域文化) 日本語表現技術 I 日本語表現技術 I	兼任	講師	ウスイ ヤヤヤ 日井 重也 (36) (本和3年4月> 修士 (書語・地域文化) 日本語表現技術 I 日本語表現技術 I
						兼任	講師	り/ 11°ミ 字野 和 (28) 〈中和3年月> 修士 (人文科学) 日本語検定対策額差	兼任	計師	り/ 力*ミ 字野 和 (29) <令和3年4月> 修士 (人文科学) 日本語検定対策課産

専任・	ı	т д	専任・		r 4	専任・		т д	専任・		т 4
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		オウギハラ アツシ 扇原 淳			オウギハラ アツシ 扇原 淳			オウギハラ アツシ 扇原 淳			がギハラ アツシ 扇原 淳
		(47) <令和2年4月> 博士(医学)			(48) <令和2年4月>			(49) <令和2年4月>			(50) <令和2年4月>
兼任	講師	身体運動Ⅱ	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II
											大石 格 (66) <令和4年4月>
									兼任	講師	博士 (法学) 陳書入門ゼミナール
											総合科目
								おおそ アヤコ			#HE 743
								大友 彩子 (41)			大友 彩子 (42)
						兼任	講師	<令和3年4月> N.A. (豪州)	兼任	講師	<令和3年4月> M.A. (豪州)
								アドパンスト・リスニング			アドパンスト・リスニング
					1104						
					材* ₹75 /リコ 小笠原 典子 (66)			が*975 /リコ 小笠原 典子 (67)			オカ゚サワラ /リコ 小笠原 臭子 (68)
			兼任	講師	<令和2年4月> 文学学士 法学学士	兼任	講師	<令和2年4月> 文学学士 法学学士	兼任	講師	<令和2年4月> 文学学士 法学学士
			, A. L.		日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II	-		日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 I	78.14		日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II
		カクライ カヨコ 加倉井 佳世子			カクライ カヨコ 加倉井 佳世子			カクライ カヨコ 加倉井 佳世子			カクライ カヨコ 加倉井 佳世子
10 IT		(68) <令和2年4月> 芸術学士	the fee	5# AT	(69) <令和2年4月> 芸術学士	36 /m	ē# AT	(70) <令和2年4月> 芸術学士	36 FT		(71) <令和2年4月> 芸術学士
兼任	講師	音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	音楽表現基礎技能音楽表現応用	兼任	講師	音楽表現基礎技能音楽表現応用
								m (NAME)			
		カトウ カオル 加藤 薫			カトウ カオル カロ藤 薫			カトウ カオル 加藤 薫			カトウ カオル カロ藤 薫
		(57) <令和2年4月>			(58) <令和2年4月>			(59) <令和2年4月>			(60) <令和2年4月>
兼任	講師	文学修士 日本語研究 A (時事 I)	兼任	講師	文学修士 日本語研究 A (時事Ⅰ)	兼任	講師	文学修士 日本語研究 A (時事Ⅰ)	兼任	講師	文学修士 日本語研究A (時事Ⅰ) 日本語研究B (時事Ⅱ)
		日本語研究B(時事Ⅱ)			日本語研究B(時事II)			日本語研究B(時事Ⅱ)			日本語研究B (時事II) 日本語表現技術II
		カネカツ ユウコ			カネカツ ユウコ	Н		カネカツ ユウコ			カネカツ ユウコ
		金勝 裕子 (66) <令和3年4月>			金勝 裕子 (67) <令和3年4月>			金勝 裕子 (68) <令和3年4月>			金勝 裕子 (69) <令和3年4月>
兼任	講師	芸術学士 音楽表現応用	兼任	講師	芸術学士	兼任	講師	芸術学士	兼任	講師	芸術学士 音楽表現応用
								E 71.2.5.0.0713			
					カネコーカス・マサ			##⊒ ### ₹#			# 17, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12
					が3 が3 75 金子 和正 (66)			対 対 対 で 金子 和正 (67)			かコ が、です 金子 和正 (68)
			兼任	講師	<令和2年4月> 体育学修士 女性の心と身体	兼任	講師	< 令和2年4月> 体育学修士 女性の心と身体	兼任	講師	<令和2年4月> 体育学修士 女性の心と身体
					女性の心と背体			文圧の心と身体			女性の心と身体
					カワク・チ カシミ			カワケ・チーカシミ			
					川口 かしみ (38)			川口 かしみ (39)			
			兼任	講師	<令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(学術)			
					リーガルリテラシー			リーガルリテラシー			
								Ade total			34e 1-41
								キウチ ショウタ 木内 祥太 (26)			キウチ ショウリ 木内 祥太 (27)
						兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士
								英語 I a 英語 I b			英語 I a 英語 I b
						Ш					
											ョゲマヤード 児玉谷 レミ (25)
									兼任	講師	<令和4年4月> 修士(社会学)
											リーガルリテラシー
<u> </u>					#/H) Ma			\$4F9 F43			#410 675
					景藤 麗子 (70)			齋藤 麗子 (71)			ザイド レイコ 寮藤 麗子 (72)
			兼任	講師	<令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	<令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	<竹和2年4月> 医学博士
					女性と健康			女性と健康			女性と健康
<u> </u>		##+ ** = 11+-			#4+** = B+-			#++ ** = 11+-			44+
		サカキバラ リエコ 榊原 理枝子 (48)			サカキハ・ラ リエコ 榊原 理枝子 (49)			サカキバラ リエコ 榊原 理枝子 (50)			サカキバラ リエコ 榊原 理枝子 (51)
		<令和2年4月> 文学修士			<令和2年4月> 文学修士			<令和2年4月> 文学修士			<令和2年4月> 文学修士
兼任		英語 I a 英語 I b	兼任	講師	英語 I a 英語 I b 英語 II a	兼任	講師	英語 I a 英語 I b 英語 II a	兼任	講師	英 語 I a 英 語 I b
		英語Ⅱa 英語Ⅱb			英語 II a 英語 II b			英語 II a 英語 II b 映画・ドラマ英語			英語 I b 英語 I b 英語 I b 英語 I b 映画・ドラマ英語

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
		保有学位等 担当授業科目名			担当授業科目名			保有学位等 担当授業科目名			保有学位等 担当授業科目名
		サガエ ヨシエ 寒河 江芳枝			サガェ ヨシェ 寒河 江芳枝			サガェ ヨシェ 寒河 江芳枝			サガェ ヨシェ 寒河 江芳枝
		(47) <令和3年4月>			(48) <令和3年4月>			(49) <令和3年4月>			(50) <令和3年4月>
兼任	講師	博士 (子ども学) 乳児保育 I 乳児保育 II	兼任	講師	博士 (子ども学) 乳児保育 I 乳児保育 I	兼任	講師	博士 (子ども学) 乳児保育 I 乳児保育 II	兼任	講師	博士 (子ども学) <mark>乳児保育 I</mark> 乳児保育 I
		孔元休日 11			孔元休日 II			孔元休日 11			**************************************
		サトウ /リコ 佐藤 典子			サトウ /リコ 佐藤 典子			サトウ /リコ 佐藤 典子			サトウ /リコ 佐藤 典子
		(49) <令和2年4月>			(50) <令和2年4月>			(51) <令和2年4月>			(52) <令和2年4月>
兼任	講師	体育学士 身体運動 II	兼任	講師	体育学士 身体運動 Ⅱ	兼任	講師	体育学士 身体運動 II	兼任	講師	体育学士 身体運動 Ⅱ
		サワノ ジロウ 澤野 次郎			#ワ/ ジロウ 澤野 次郎			サワノ ジロウ 澤野 次郎			サワノ ジロウ 澤野 次郎
兼任	講師	(60) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	兼任	講師	(61) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	兼任	講師	(62) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	兼任	講師	(63) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)
ЖI	DIS-DIV	災害と社会	ak ii	Die Dift	災害と社会	ЖII	DIN DIV	災害と社会	жш	019 011	災害と社会
		シミズ フミコ 清水 文子 (48)			シミズ フミコ 清水 文子 (49)			シミス゚ フミコ 清水 文子 (50)			シミズ フミコ 清水 文子 (51)
兼任	講師	<令和2年4月> 学士(体育学)	兼任	講師	<令和2年4月> 学士(体育学)	兼任	講師	<令和2年4月> 学士(体育学)	兼任	講師	<令和2年4月> 学士(体育学)
		身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ
		シミズ マリコ 清水 真理子 (60)			シミズ マリコ 清水 真理子 (61)			^{シミズ} マリコ 清水 真理子 (62)			^{シミズ} マリコ 清水 真理子 (63)
兼任	講師	<令和2年4月> 芸術学士	兼任	講師	<令和2年4月> 芸術学士	兼任	講師	<令和2年4月> 芸術学士	兼任	講師	<令和2年4月> 芸術学士
		音楽表現基礎技能 音楽表現応用			音楽表現基礎技能 音楽表現応用			音楽表現基礎技能 音楽表現応用			音楽表現基礎技能 音楽表現応用
		22° + 97+			77.° + 97.+	-		22° + 97+			22° † 97†
		鈴木 瑛貴 (29)			鈴木 瑛貴 (30)			鈴木 瑛貴 (31)			鈴木 瑛貴 (32)
兼任	講師	<令和2年4月> 修士(人文科学) 子どもと身体表現※	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(人文科学) 子どもと身体表現※	兼任	講師	< 令和2年4月> 修士 (人文科学) 子どもと身体表現※	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(人文科学) 子どもと身体表現※
		1 C O C SI M S S S S			I C O C S PROSE			I C U C S I MASSIM			I C O C S I WAS N
		9= <u>E</u> D3			9= tp=	-		9= tn=	-		9= tn=
		谷 洋子 (51) <令和2年4月>			谷 洋子 (52) <令和2年4月>			谷 洋子 (53) <令和2年4月>			谷 洋子 (54) <令和2年4月>
兼任	講師	M.S.Ed (米国) アドバンスト・リーディング	兼任	講師	M. S. Ed (米国) アドバンスト・リーディン	兼任	講師	M. S. Ed (米国) アドバンスト・リーディング	兼任	講師	M. S. Ed (米国) アドバンスト・リーディング
					グ TOEIC対策騰座			TOEIC対策講座			TOEIC対策講座
									-		タブ・サータイコ 田能 恵子
											(64) <令和2年4月>
									兼任	講師	Doctor of Philosophy (米国) 持続可能な社会
											34 de -a uc. e-17 70
		₹7% ⊒ウイチ			₹7°> ⊐ウイ₹			₹7> ⊐ウイ₹	-		₹₹% ⊒₫{₹
		千足 耕一 (52) <令和2年4月>			千足 耕一 (53) <令和2年4月>			千足 耕一 (54) <令和2年4月>			千足 耕一 (55) <令和2年4月>
兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II	兼任	講師	博士 (医学) 身体運動 II
		₹3 t 曹 喜			₹3 t 曹 喜			チョ ヒ 曺 喜			₹3 t 曺 喜
		(45) <令和2年4月> 修士(日本文学)			(46) <令和2年4月> 修士(日本文学)		24.7	(47) <令和2年4月> 修士(日本文学)			(48) <令和2年4月> 修士(日本文学)
兼任	講師	朝鮮語 I a 朝鮮語 I b	兼任	講師	朝鮮語la 朝鮮語lb	兼任	講師	朝鮮語Ia 朝鮮語Ib	兼任	講師	朝鮮語Ia 朝鮮語Ib
					ドイ ヨシハル 土井 善晴 (63)			ド・イ ヨシハル 土井 善晴 (64)			F* (∃9/n≱ 土井 善晴 (65)
			兼任	講師	(63) <令和2年4月> 教育学士	兼任	講師	(84) <令和2年4月> 教育学士	兼任	鉄師	(66) <令和2年4月> 教育学士
					総合科目			総合科目			総合科目
					I boss>-			Ling -b-			the at-
					トキマザ フミコ 時松 史子 (63)			ドマザ フミコ 時松 史子 (64)			神神 フミコ 時松 史子 (65)
			兼任	講師	<令和2年4月> 人文科学修士	兼任	講師	<令和2年4月> 人文科学修士	兼任	講師	<令和2年4月> 人文科学修士
					中国語 I a 中国語 I b			中国語Ia 中国語Ib			中国語 I a 中国語 I b
					F₹3* ↑ L ₹3			k73°7 b#3	—		\73°0 E\$3
					遊郷 尚代 (48) <令和2年4月>			遊舞 尚代 (49) <令和2年4月>			養郷 尚代 (50) <令和2年4月>
			兼任	講師	< 市和2年4月> 海洋科学博士 身体運動Ⅱ	兼任	講師	< 市和2年4月> 海洋科学博士 身体運動Ⅱ	兼任	講師	< 市和2年4月> 海洋科学博士 身体運動Ⅱ
				<u> </u>		· L			L	<u> </u>	

専任・	1	氏 名	専任・	1	氏 名	専任・		氏 名	専任・	1	氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(4 年 (年 齢) (就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(共 句 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(大 (年 齢) (マ (予定) 年月> (保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(4 f
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		ナカジマ ノリコ 中島 紀子 (55) _			ナカジマ /リコ 中島 紀子 〔56〕			がマ /リコ 中島 紀子 (57)			がデマー/リコ 中島 紀子 (58)
兼任	講師	< 令和2年4月 > 修士(文学) 日本語研究 F (人文科学)	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(文学) 日本語研究F(人文科学)	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(文学) 日本語研究F(人文科学)	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(文学) 日本語研究F(人文科学)
					ナカ°ト 3ウイテ 長波 陽一 (54)			ナがト 3ウイチ 長波 陽一 (55)			がト 3 9 代 長波 陽一 (56)
			兼任	講師	<令和2年4月> 言語学博士 朝鮮語Ia	兼任	講師	<令和2年4月> 言語学博士 朝鮮語Ia	兼任	講師	<令和2年4月> 言語学博士 朝鮮語Ia
					朝鮮語Ib			朝鮮語Ib			朝鮮語Ib
		ナゴキ アッシ 名児耶 厚 (41)			ta* t 7% 名児耶 厚 (42)			ナゴヤ アツシ 名児耶 厚 (43)			ナゴヤ アツシ 名児耶 厚 (44)
兼任	講師	<令和2年4月> 博士(情報学) 情報処理演習 I	兼任	講師	<令和2年4月> 博士 (情報学) 情報処理演習 I	兼任	講師	< 令和2年4月> 博士 (情報学) 情報処理演習 I	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(情報学)
		情報処理演習 I 情報処理演習 II			情報処理演習 I 情報処理演習 I			情報処理演習士 情報処理演習王			情報処理演習 I 情報処理演習 I
					二分十 ミュキ 仁科 幸			二分十 ミュキ 仁科 幸			二分 ミュキ 仁科 幸
			兼任	講師	(28) <令和2年4月> 修士 (人文科学)	兼任	講師	(29) <令和2年4月> 修士(人文科学)	兼任	講師	(30) <令和2年4月> 修士(人文科学)
					身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ			身体運動工
		ニノミヤ ユタカ 二宮 穣			ニノミヤ ユダカ 二宮 穣			ニノミヤ ユタカ 二宮 穣			ニ/ミヤ ユタカ 二宮 穣
兼任	講師	(56) <令和3年4月> 理学修士	兼任	講師	(57) <令和3年4月> 理学修士	兼任	講師	(58) <令和3年4月> 理学修士	兼任	講師	(59) <令和3年4月> 理学修士
		子どもと自然			子どもと自然			子どもと自然			子どもと自然
		nシモト チヅル 橋本 千鶴			ハシモト チツ゚ル 橋本 千鶴			ハシモト チツ [*] ル 橋本 千鶴			nシモト チツ゚ル 橋本 千鶴
34 /r	=#AT	(61) <令和2年4月> 教育研究科学修士	36 FT	=# AT	(62) <令和2年4月> 教育研究科学修士	nte for	-#AT	(63) <令和2年4月> 教育研究科学修士	30 FT	=# AT	(64) <令和2年4月> 教育研究科学修士
兼任	講師	言語文化表現	兼任	講師	言語文化表現	兼任	講師	言語文化表現	兼任	講師	言語文化表現
		ハマノ ノリコ			nマ/ /リコ 浜野 範子			ハマノ ノリコ			ハマノ ノリコ
		浜野 範子 (56) <令和2年4月>			(57) <令和2年4月>			浜野 範子 (58) <令和2年4月>			浜野 範子 (59) <令和2年4月>
兼任	講師	芸術学修士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	芸術学修士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	芸術学修士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	芸術学修士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
		日本なめの川			日本ながが打			■ 未なめの力			
											け*レ ヤスハル 日暮 康晴 (28) <令和4年4月>
									兼任	講師	《令和4年4月》 修士 (日本語教育学) 総合日本語皿a 総合日本語皿b
		7ክሣን አጸፊ			フカサワ ススム			7ሕዛን አአል			7.547 2.2.4
		深澤 進 (47) <令和2年4月>			深澤 進 (48) <令和2年4月>			深澤 進 (49) <令和2年4月>			深澤 進 (50) <令和2年4月>
兼任	講師	修士 (学術) ネットワーク社会	兼任	講師	修士 (学術) ネットワーク社会	兼任	講師	修士 (学術) ネットワーク社会	兼任	講師	修士 (学術) ネットワーク社会
											-14-
								7分7 比於 深澤 唯 (42)			7が7 とトミ 深澤 唯 (43)
						兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学) 日本語検定対策講座	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学) 日本語検定対策議座
			L								
		7ジウ エイイチロウ 藤生 栄一郎 (59)			フジウ エイイチロウ 藤生 栄一郎 (60)			7ジウ エイイチロウ 藤生 栄一郎 (61)			7ジウ エイイチロウ 藤生 栄一郎 (62)
兼任	講師	<令和2年4月> 修士(体育学) 身体運動 I	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(体育学) 身体運動 I	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(体育学) 身体運動 I	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(体育学) 身体運動 I
		身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ			身体運動Ⅱ
					プピキ 外 分 船曳 建夫 (72)			7ft*キ 9分 船曳 強夫 (73)			7ft° キ 5ff 船曳 建夫 (74)
			兼任	講師	(72) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (英国)	兼任	講師	(/3) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (英国)	兼任	講師	(/4) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (英国)
					総合科目			(失国) 総合科目			総合科目
-			-		₹₹\$* ₹\$			177, 57	-		₹ ₹ 5
					増田 未来 (33) <令和2年4月>			増田 未来 (34) <令和2年4月> 株士 (人文智学)	l		増田 未来 (35) <令和2年4月>
			兼任	講師	修士 (人文科学) 身体運動 I	兼任	講師	修士 (人文科学) 身体運動 I	兼任	講師	修士 (人文科学) 身体運動 I
<u> </u>											

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	兼任	快飯	担当授業科目名 TXE おX*す 増茂 和男 (67) <令和2年4月> 修士(学術) フランス語18 フランス語18	兼任	納師	担当授業科目名	兼任	禁師	担当授業科目名 「スた おぶ オ 増茂 和男 (会別 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年
						兼任	禁師	777 / クヤミ 松馬 夏海 (25) (全和3年4月ン 文学士 アドバンスト・ライティング	兼任	禁師	7対 対策 後属 直稿 (28) (全都3年4月> 文学士 アドバンスト・ライティング
									兼任	講師	7751 7434 松本 彰之 (36) 《令和4年4月》 修士 (体資料学) 身体運動Ⅱ
兼担	講師	77'ソン ローラン Mabesone Laurent (51) 〈令和2年4月〉 博士 (学術) フランス語 I a フランス語 I b									
									兼任	講師	対ド がわ 三角 成夢 (30) 〈令和4年4月〉 修士(大学) TOEIC対策額を アドバンスト・リスニング
兼任	講師	ミザ「キ 3リコ 宮崎 順子 (56) <令和3年4月> 人文科学修士 インターネット英語	兼任	講師	 ミザギ 刊コ 宮崎 順子 (57) 〈令和3年4月〉 人文科学修士 インターネット英語 	兼任	講師	ミザギ 刊コ 宮崎 順子 (58) 〈令和3年月> 人文科学修士 インターネット英語			
兼任	講師	注	兼任	講師	される では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼任	講師		兼任	講師	対い で
			兼任	講師	世間 1 日本 1 日	兼任	講師	モリカケ トモアキ 乗川 智成 (37) <令和22年4月> 出人 (米国) 英藤-F-a	兼任	講師	刊約7 → 刊27 乗川 智成 (38) 〈令和2年4月〉 山.人 (米国) 英語-14
兼任	講師	特"リ 計 矢澤 美佐紀 (54) 〈令和3年月> 修士 (文学) 歴史のなかの女性	兼任	講師	サザウミサ 矢澤 美佐紀 (55) (今和3年4月) 修士 (文学) 歴史のなかの女性	兼任	講師	ザ つ 594 矢澤 美佐紀 (56) 〈令和犯年4月〉 修士 (文学) 歴史のなかの女性	兼任	講師	ヤザウミ井 矢澤 美佐紀 (57) 〈令和2年4月〉 修士(文学) 歴史のなかの女性
兼任	講師	†774	兼任	講師	ヤスペ 拍コ 安恒 佳代子 (62) (今和2年4月> 文学士 日本語研究 C (ビジネス I) 日本語研究 D (ビジネス I)	兼任	講師		兼任	講師	ヤバキ 計コ 安恒 佳代子 (64) (64) (今和2年4月> 文学士 日本語研究C (ビジネス I) 日本語研究D (ビジネス II)
兼任	講師	や、 対コ 矢部 尚子 (60) 〈令和2年4月〉 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	が、 けコ 矢部 尚子 (61) 〈令和2年4月〉 芸術学士 音楽表現と彼故能 音楽表現応用	兼任	講師	や、 対1 矢部 尚子 (62) <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	や、 材コ 矢部 尚子 (63) 〈令和2年4月〉 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
						兼任	講師	ヤ7/3 計7 山間 華菓子 (33) 〈令和3年4月〉 博士(文学) 日本語表現技術車			
			兼任	講師	付が けっき 加賀 英美 (44) 今和2年4月 > 直人 音楽表現基礎技能	兼任	講師	ヤガ ドデミ 山質 英奏 (45) <令和2年4月> 組人 音楽表現基礎技能 音楽表現基礎技能	兼任	禁師	ヤオ ビザミ 山質 英義 (46) <令和2年4月> 組人 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
			兼任	講師	山賀 英美 (44) <令和2年4月> II. A.			博士 (文学) 日本願義現技術車 ヤ75 にデミ 山河 5天義 (45) <参加2年4月> 組	兼任	鉄師	<會

専任・ 兼担 を か別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名
									兼任	講師	ヤヴァ 142 山口 雪江 (58) ◆和4年4月> 参育学修士 中国語 ia 中国語 ib 中国語試験対策譲遽
兼任	講師	ヤ7ト 3ウコ 大和 洋子 (59) <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論	兼任	講師	ヤ7ト 3ウコ 大和 洋子 (60) <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論	兼任	講師	ヤマト 3ウコ 大和 洋子 (61) <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論	兼任	講師	ヤ7ト 3ウコ 大和 洋子 (62) <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論
兼任	講師	ヤ7モト ケッゲ 山本 覧二 (711) <令和2年4月> 国際学修士 中国語 I B									
兼任	講師	33/th 743 吉岡 晶子 (67) 〈令和2年4月〉 家政学士 言語文化表現	兼任	講師	33/h 7+3 吉岡 晶子 (68) 《令和2年4月》 家政学士 言語文化表現	兼任	講師	3½/h 743 吉岡 晶子 (69) <令和2年4月> 家改学士 書語文化表現	兼任	講師	33/th 743 吉岡 晶子 (70) <令和2年4月> 家政学士 書藝文化表現
						兼任	納師	リ お742 幸 準備 (27) <令和3年4月> 文学修士 英語 I b	兼任	講師	リ #7/1

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は思出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可等又は服団份から要型をなっている場所な大学の表字としてください。**・ 各棚の作成方法は「大学の設置等に係る理出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選生義**を記入してください。
 ・ 專任(専門職大学等は第、実等、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【令和2年度】

【新規・退職・新規担当】

- 宮野 周准教授の退職に伴い、入門ゼミナールは、金 介貞講師、水島 ゆめ講師を採用。
- 児童学概論※は、別教員が担当。感じて表現(造形)の担当として、名達 英詔教授を採用。
- 呂 小転助教の退職い伴い、幼稚園教育実習総論、幼稚園教育実習、保育実習経論Ⅰ、保育実習Ⅰ(保育所)、保育実習Ⅰ(施設)、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅱ、 保育実習総論Ⅲ、保育実習Ⅲ、保育インターンシップ(R3年度開講)の担当として後任選定中。
- 齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- 阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- · 加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール(R3年度開講)の担当として後任選定中。
- Mabesoone Laurent講師の退職に伴いフランス語Ia、フランス語Ibの担当として、増茂 和男講師を採用。
- 山本 賢二講師の辞退に伴い、中国語 I a、中国語 I bの担当として、時松 史子講師を採用。
- 考えて表現(造形)の担当として、水島 ゆめ講師を採用。名達 英詔教授削除。
- 教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田(今村)有理准教授、曽野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- ・ 女性の心と身体の担当として、金子 和正講師を採用。飯田 路佳教授、布施 晴美教授を削除。
- コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- 風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- 教育効果充実を図る為、英語 I a、英語 I bの担当として、福田 仁教授、森川 智成講師を採用。
- 日本語能力試験対策講座 I、日本語能力試験対策講座 Iの担当として、小笠原 典子講師を採用。稲田 朋晃講師削除。
- 教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- 音楽表現基礎技能の担当として、山賀 英美講師を新規採用。加倉井 佳世子講師は削除。
- 教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- 朝鮮語Ia、朝鮮語Ibの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。
- コマ数追加による身体運動 I の新規担当追加として、増田 未来講師を採用。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- 桶田 ゆかり教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 加藤 則子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 上垣内 伸子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 向井(木村)美穂教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし
- 設楽(松尾)優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし
- 棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし
- 松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし
- 好本 惠教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし
- 綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。 石川 敬史准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 落合 真裕准教授は、コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。 三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 安達 宏之講師は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 名児耶 厚講師 (削除) 情報処理演習 II 今年度本学科では、担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- 渡邊 孝枝謙師の身体運動Ⅱは、別教員が担当。
- 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナ感染症の影響のため未開講。
- 石野 榮一教授の地域で学ぶは、別教員が担当。
- 狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 向後(田中)朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- sheila Cliffe教授 新規担当 英語 I a、英語 I b、アドバンストライティング
- 星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 綿井 雅康教授の総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- 杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目 稲田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更 日本語表現技術Ⅱ
- 稲田 朋晃講師 新規担当 総合日本語 I b
- 山下 悠貴乃講師から稲田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術皿
- 加藤 薫講師から稲田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語研究A(時事Ⅰ)
- 神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会 渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 榊原 理枝子講師の英語 Ia、英語 Ibは、別教員が担当。
- 谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座 宮本 正治講師 新規担当 英語 Ia、英語 Ib
- 宮本 正治講師から設楽(松尾)優子教授へ担当変更。アドバンストリーディング応用

【令和3年度】

- 担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。 大宮明子教授
- 担当科目として「保育制度・保育政策論」を追加。 桶田ゆかり数授
- 担当科目として「児童学概論※」を追加。 加藤則子教授
- 担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。 潮谷恵美教授
- 科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。 鈴木康弘教授
- 長田(鈴木)瑞恵教授 科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。

```
名達革詔教授
           担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」、「造形発達と表現」は今年度担当なし。
 向井(木村)美穂教授 科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
           科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
 山田陽子教授
 鈴木晴子准教授
           担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。
 曽野麻紀准教授
           科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
 金允貞講師
           担当科目として「児童学概論」、「幼児教育基礎実習」、「幼児教育基礎演習」、「子どもの理解と援助」、「乳児保育I」を追加。
 十屋由講師
           担当科目として「入門ゼミナール」、「保育者論」、「幼児教育学」を追加。
 水島ゆめ講師
           担当科目として「児童学概論」、「ネイチャー・ワーク」、「表現総論」、「保育内容の指導法(造形表現)」、「造形発達と表現」
渡邊孝枝講師
           担当科目として「読書入門ゼミナール」、「身体運動Ⅱ」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
           担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「保育制度・保育政策論」は今年度担当なし。
• 诉藤有紀子助教
           担当科目として「地域と人間生活」を追加。
池川繁樹教授
           科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。
 池間里代子教授
           担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
           科目配当上の理由により「企業に学ぶキャリアデザイン」、「プロアクティブ人材育成」は今年度担当なし。
 石野榮一教授
石山隆之教授
           科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
            「総合科目」の担当に追加。
大倉哲也講師
           科目配当上の理由により「自主社会活動」は今年度担当なし。
 風間文明教授
           科目配当上の理由により「21世紀型の教育」は今年度担当なし。
狩野浩二教授
           科目配当上の理由により「情報処理演習 I 」は今年度担当なし。
北原俊一教授
向後(田中)朋美教授 担当科目として「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」「英語コミュニケーション応用」を追加。
           科目配当上の理由により「アドバンスト・リスニング応用」は今年度担当なし。
・ 設楽(松尾)優子教授 科目配当上の理由により「映画・ドラマ英語」、「TOEIC対策講座」、「アドパンスト・リーディング応用」は今年度担当なし。
sheila Cliffe教授 自己都合により退職。
           科目配当上の理由により「キャリア基礎力Ⅰ」は今年度担当なし。
. 田倉昭教授
           担当科目として「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」、「英語コミュニケーション応用」を追加。
 竹之内修特任教授
 棚谷祐一教授
           担当科目として「キャリア基礎力I」を追加。
 山西郁教授
           担当科目として「特別支援教育概論」を追加。
 中山成夫教授
           担当科目として「総合科目」を追加。
 羽田邦弘教授
           担当科目として「課題解決ゼミナール」、「総合科目」、「21世紀型の教育」を追加。
 星野敦子教授
           担当科目として「保育制度・保育政策論」を追加。科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
 細谷忠司教授
           担当科目として「人間理解ワークショップ」を追加。
 綿井雅康教授
           担当科目として「自主社会活動」を追加。
           科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
 飯村九林准教授
           担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
 樨野涼子准教授
           担当科目として「総合科目」、「食の科学」を追加。
 神山真澄准教授
 福田仁教授
           担当科目として「ビジネス英語」、「映画・ドラマ英語」を追加。
           担当科目として「地域と人間生活」を追加。科目配当上の理由により「女性と健康」は今年度担当なし。
 徳野裕子准教授
 星野祐子准教授
           担当科目として「課題解決ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「日本語検定対策講座」、「総合科目」は今年度担当なし。
           担当科目として「読書入門ゼミナール」、「総合科目」を追加。
 伊藤美穂講師
 稲田朋晃講師
           担当科目として「総合日本語IIb」を追加。
           科目配当上の理由により「総合日本語Ib」、「日本語表現技術II」、「日本語研究A(時事I)」は今年度担当なし。
 鴫下洛子講師
           担当科目として「地域と人間生活」を追加。
 神田俊平講師
           科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
 仇暁芸講師
           担当科目として「英語IIa」、「英語IIb」を追加。
           科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」、「中国語 II a」、「中国語 II b」は今年度担当なし。
 髙田健人講師
           担当科目として「地域と人間生活」を追加。
           科目配当上の理由により「キャリア基礎カブ」は今年度担当なし、
鳥越信吾講師
           担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
 中岡加奈絵講師
           科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
新嶋良恵講師
 増田早哉子講師
            「人間理解ワークショップ」の担当に追加。
           担当科目として「企業に学ぶキャリアデザイン」を追加。
貝吉盆商講師
 山下悠青乃謙師
           科目配当上の理由により「総合日本語Ⅱb」、「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語集中講座(編入)※」、「日本語表現技術Ⅱ」、
            「日本語研究A(時事I)」は今年度担当なし。

    若葉京良講師

           担当科目として「地域と人間生活」を追加。

    八鍬晶子講師

           担当科目として「総合科目(トップアスリートの育成から学ぶ)」を追加。
 渡讱章夫講師
           担当科目として「地域と人間生活」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。

    堀井貴子講師

           自己都合により退職。担当科目は別教員が担当。
 菅原沙恵子助教
           担当科目として「食の科学」を追加。
 秋山まき子講師
           科目配当上の理由により「TOEIC対策講座」は今年度担当なし。
 荒井 (田中) あさ香講師 「日本語研究 A (時事 I )」の担当に追加。
 池辺早良講師
            「TOEIC対策講座」の担当に追加。
 臼井直也講師
            「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語表現技術Ⅱ」の担当に追加。
 宇野和講師
            「日本語検定対策講座」の担当に追加。
 大友彩子講師
            「アドバンスト・リスニング応用」の担当に追加。
           科目配当上の理由により「音楽表現応用」は今年度担当なし。
 加倉井佳世子講師
 木内祥太講師
            「英語Ia」、「英語Ib」の担当に追加。
           担当科目として「映画・ドラマ英語」を追加。科目配当上の理由により「英語Ⅱa」、「英語Ⅱb」は今年度担当なし。
 榊原理枝子講師
 名児耶厚講師
           科目配当上の理由により「情報処理演習Ⅰ」は今年度担当なし。
 深澤暗謙師
            「日本語検定対策講座」の担当に追加。
            「アドバンスト・ライティング応用」の担当に追加
 松尾夏海講師
           科目配当上の理由により「英語 I a」、「英語 I b」は今年度担当なし。
 森川智成講師
山岡華菜子講師
            「日本語表現技術皿」の担当に追加。
           担当科目として「音楽表現応用」を追加。
山智英美講師
           「英語Ia」、「英語Ib」の担当に追加。
 李華雨講師
【令和4年度】
```

科目配当上の理由により「児童学概論」「キャリアデザイン入門」は今年度担当なし。 大宮明子教授 科目配当上の理由により「保育実習総論Ⅰ」は今年度担当なし。 桶田ゆかり教授 科目配当上の理由により「児童学概論」は今年度担当なし。 加藤則子教授 科目配当上の理由により「保育実習総論Ⅰ」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅱ」は今年度担当なし。 上垣内 伸子数授 「児童学概論」の担当を追加。科目配当上の理由により「キャリアデザイン入門」「幼稚園教育実習総論」は今年度担当なし。 潮谷 恵美教授 「児童学概論」の担当を追加。 給木 康弘教授 長田(鈴木)瑞恵教授 「児童学概論」の担当を追加。

名達 英詔教授 「児童学概論」の担当を追加。

二宮 紀子教授 科目配当上の理由により「児童学概論」は今年度担当なし。

向井(木村)美穂教授 科目配当上の理由により「児童学概論」「幼稚園教育実習総論」「保育実習総論 I 」「保育実習 I (保育所) 」「保育実習 I (施設)」

```
「保育実習Ⅲ」は今年度担当なし
  山田 陽子教授
             科目配当上の理由により「保育実習総論Ⅰ」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅰ(施設)」「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」
             「保育インターンシップ」は今年度担当なし。
             科目配当上の理由により「保育実習Ⅰ(施設)」「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」は今年度担当なし。
  権 明愛准教授
             科目配当上の理由により「キャリアデザイン入門」「幼稚園教育実習総論」は今年度担当なし。
  鈴木晴子准教授
             「保育実習 I (保育所)」の担当を追加。
  曽野 麻紀准教授
  薮崎 伸一郎准教授 科目配当上の理由により「児童学概論」は今年度担当なし。
  横井(服部)紘子准教授 科目配当上の理由により「保育実習総論Ⅰ」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅱ」は今年度担当なし。
             「乳児保育Ⅱ」「保育インターンシップ」「保育実習Ⅱ」「保育臨床学」を追加。
 • 金 允貞講師
  土屋 由講師
             「子どもの理解と援助」「児童学概論」「保育インターンシップ」「保育学」「保育実習Ⅱ」
             「保育内容の指導法(人間関係)」「保育内容総論」の担当を追加。
  水鳥 ゆめ講師
             「造形保育論」「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
             「児童学概論」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
  渡邊 孝枝講師
  近藤 有紀子助教
             科目配当上の理由により「キャリアデザイン入門」「保育内容の指導法(人間関係)」は今年度担当なし。
             科目配当上の理由により「総合ゼミナール」「キャリアサポート演習」は今年度担当なし。「総合科目」の担当を追加。
  安達一寿教授
  池間里代子教授
             「中国語試験対策講座」は担当者変更により削除。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
  石山隆之講師
             「総合科目」の担当を追加。
             科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
  大倉哲也教授
  大山博幸教授
             「総合科目」の担当を追加。
             「21世紀型の教育」「総合ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
  狩野 浩二教授
  向後朋美教授
             「英語IIa」「英語IIb」「英語コミュニケーション発展a」「英語コミュニケーション発展b」の担当を追加。
             科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
  杉元葉子教授
             科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。
  高谷和成数授
  田會昭教授
             定年により退職
  竹之内修教授
             「TOEIC対策講座」「アドバンスト・リーディング」「英語コミュニケーション発展a」「英語コミュニケーション発展b」の担当を追加。
             科目配当上の理由により「キャリア基礎力I」「キャリア基礎力II」は今年度担当なし。
  棚谷祐一教授

    田総恵子教授

             定年により退職。兼任に身分変更。
  计曲子教授
             「地域と人間生活」の担当を追加。
  中村禎子教授
             「地域と人間生活」の担当を追加。
  中山成夫教授
             科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
  名倉秀子教授
             「キャリアサポート演習」「キャリア基礎カⅠ」「キャリア基礎カⅡ」を追加。
  成谷宏文教授
             「地域と人間生活」の担当を追加。
  羽田邦弘教授
             「総合ゼミナール」の担当を追加
             特別研修(海外)のため、今年度の担当科目は他教員が担当。
  平田智秋教授
  福田仁教授
             定年により退職。担当科目は別教員が担当。
             死亡により退職。担当科目は別教員が担当。
  布施晴美教授
  星野敦子教授
             「総合科目」の担当を追加
  松岡敬明教授
             定年により退職。担当科目は別教員が担当。
  松永修一教授
             「海外語学研修」「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
             科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
  松本晃子教授
  綿井雅康教授
             「キャリアサポート演習」「キャリア基礎カⅠ」「キャリア基礎カⅡ」の担当を追加。
  綾井櫻子准教授
             自己都合により退職。担当科目は別教員が担当。
  飯村九林准教授
             科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
  石田有理准教授
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
  梶野涼子准教授
  川口英俊准教授
             「読書入門ゼミナール」の担当を追加
             「女性と健康」の担当を追加。
  徳野 裕子准教授
  人見優子准教授
             「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
             「総合科目」の担当を追加。
  山崎優子准教授
  伊藤美穂講師
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」「総合科目」は今年度担当なし。
  稲田朋炅謙師
             「総合日本語IIIa」は担当者変更により削除。
  岡山睦美護師
             「人間理解ワークショップ」の担当を追加。
  鴫下澄子謙師
             「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
  仇時芸講師
             産休・育休により、今年度の担当科目は他教員が担当。
  武田瑞穂講師
             「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
  鳥越信吾講師
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
  中岡加奈絵講師
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
             科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
 · 野田日出子講師
  八鍬晶子講師
             「身体運動Ⅱ」の担当を追加。
  矢野景子講師
             「総合科目」の担当を追加。
  山下悠貴乃講師
             「総合日本語皿b」は担当者変更により削除。「日本語集中講座(編入)」は担当を追加。
  渡辺章夫謙師
             科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。
             科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
  倉若美咲樹助教
             「総合科目」「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
  菅原沙恵子助教
             科目配当上の理由により「TOEIC対策講座」は今年度担当なし。
  池辺早良講師
             「インターネット英語」「ビジネス英語」「映画・ドラマ英語」の担当を追加。
  市川ゆりえ講師
             「読書入門ゼミナール」「総合科目」の担当を追加。
  大石裕講師
  加藤薫講師
             「日本語表現技術皿」を追加。
  川口かしみ講師
             辞任により児玉谷レミ講師に変更。
  児玉谷レミ講師
             「リーガルリテラシー」の担当を追加。
             「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」は担当者変更により削除。
  寒河 江芳枝講師
  清水 真理子講師
             科目配当上の理由により「音楽表現基礎技能」「音楽表現応用」は今年度担当なし。
  名児耶 厚講師
             「情報処理演習Ⅰ」の担当を追加。
  日暮康晴講師
             「総合日本語Ⅲa」「総合日本語Ⅲb」の担当を追加。
  増田 未来講師
             科日配当上の理由により「身体運動 I」は今年度担当なし。
  松本彰之講師
             「身体運動Ⅱ」の担当を追加。
             「TOEIC対策講座」「アドバンスト・リスニング」の担当を追加。
  三角成彦講師
             辞任により、市川ゆりえ講師に変更。
  宮崎順子講師
             辞任により、加藤薫講師に変更。
 山岡華草子講師
             「中国語 I a」「中国語 I b」「中国語試験対策講座」の担当を追加。
  山口雪汀藩師
  吉岡 晶子講師
             科目配当上の理由により「言語文化表現」は今年度担当なし。
(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
    慰可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
```

- - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')		
10	7	1	2	20	0	11	5	4	1	21	0		
(10)	(6)	(3)	(1)	(20)	(0)								
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画			
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')		
11	5	4	1	21	0	11	5	4	1	21	0		
[1]	[\(\triangle 2	F 3 1	ΓΔ1]	Г 1]	[0]	Г 1 I	[△2	F 3 1	Γ Δ1]	Γ 1 l	[0]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、翌可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、 数員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入</u>するとともに、
 - <u>「現在(報告時)の外派」に配入した数字に、元成年度までに励在することが表定している数量数を加えた数を配入</u>9 るとと [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

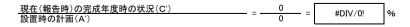
(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任	£補充状	兄	京	优任辞退	【人未	就任)の理	由	
				必修	入門ゼミナール		1							
				必修	児童学概論		1							
				必修	ネイチャー・ワ-	-ク	1							
				必修	表現総論		1							
1	准教授	宮野 周	2020/3/31	選択	保育内容の指導法 (造形)	5現)	1		R.	2 21:1	見職の)ため就任辞	浪	
'	在扒汉		2020, 0, 01	必修	感じて表現(造井	隻)	1		11/2	0. 0112	△400.0	ノ / こ は ノ / 小 / 1 二 日 十	100	
				選択	造形発達と表現	ļ	1							
				選択	造形保育論		1							
				選択	保育・教職実践活	實習	1							
				必修	卒業研究		1							
				選択	幼稚園教育実習紀	- 100	1							
				選択	幼稚園教育実習		1							
				選択	保育実習総論I		1							
				選択	保育実習I(保育		1							
2	助教	呂 小転	2020/3/31	選択	保育実習I(施		1		R	3 314	退職の)ため就任辞	退	
-	7117	L 7 +L		選択	保育実習総論 II		1			0. 0. 2		> / C => //01 E /	~_	
				選択	保育実習Ⅱ		1							
				選択	保育実習総論Ⅲ		1							
				選択	保育実習Ⅲ		1							
				選択	保育インターンシ	ップ	1							
		合計	(D)					後	长任補充状況	の集計	(E))		
京	优任を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合	計数(a)		②の合計	十数 (b)	1	③の合計	数(c)
			必	修	6 科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選	択	14 科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	2	人	自	由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				; †	20 科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任数員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退 (未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び())書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由の	90 担	3当予定科目	後	壬補充料	犬況	辞任等の理由					
_																		
	合計 (F)									後任補充状況の集計(G))			
		辞	任し	,た教員数		担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③				③の合計	の合計数 (c)			
						必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
						選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						ā	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、 $\mathbf{\underline{c}}$ 年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)							後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)							①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合語					5)		
		必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	14	科目	斗目 選択 14 科目 選択 0 科目	選択	0	科目							
2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) = 2 (2)-②設置時の計画(A) = 20 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

- (注) \cdot (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	i	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		辞任等の理由							
											_								
					,	=1						// I~ 1-b1	h 10 0 6	+ = I					
	合計								後任補充状況の集計										
		辞	任し	」た教員数		担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					ŀ数(cː)				
						必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
			^			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
I			0	^		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
						計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」 \sim 「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。 学生に対しては、新総合教育システム (ユニバーサルパスポート) に「時間割・担当変更一覧」を掲載し、周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	完成年度前に、定年制定に、定年的に、定年的の政策をはなり、では、定年をはない。のは、では、では、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	遵守事項	本園認年る行員性もし必完教採をて続位、必はで学専の点を、要成員用含はにてが。る育領年をとにつび規定な年配等のとこれのでも、のはでで専の点をはいてが。る育領年をは担けてが。る育のに延続以計行でとるえ教のにをお行した。とるえ教のにをは担けであ経ったで、のはで学専の点をついてづ延に究も。は、でき年任継が延てるはい長つの、学と定 進教続ら長は。、て者い継職学と定 進教続ら長は。、て者い継職	履行中	今後も教員配置計画表に基 づいて採用等を行い、定年 延長者を含む退職者の教育 については、学科の教育 究の継続性を図る観点から も、職位や年齢に配慮す る。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	_,				
設置計画履行状況調 査 時 (令和3年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育人文学部 幼児教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(別添資料 1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置 している。

令和3年度は人間福祉学科の教員が委員長を務め、事務局の担当者を含め計15名(教員11名、職員4名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和3年度は全5回開催した。

 第1回
 令和3年6月3日(木)-6月9日(水)
 教員出席者 11人(メール開催)

 第2回
 令和3年6月24日(木)
 教員出席者 10人(Z00M開催)

 第3回
 令和3年11月25日(木)
 教員出席者 9人(Z00M開催)

 第4回
 令和4年1月20日(木)
 教員出席者 8人(Z00M開催)

 第5回
 令和4年3月10日(木)
 教員出席者 9人(Z00M開催)

- c 委員会の審議事項等
 - 十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。
 - (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
 - (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
 - (3) 授業評価等 F D 係る調査、研究に関する事項
 - (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和2年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

- b 実施方法
 - (1) 授業アンケート

前期【 $7/31(\pm) \sim 8/12(\pi)$ 】後期【 $1/7(\pm) \sim 2/3(\pi)$ 】で、学生による授業アンケートを実施した。アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和4年2月24日 (水) に、9 学科 (全学科) より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和3年11月24日(水)~12月7日(火)にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を 行った。

(4) 研修会

令和4年1月12日、19日、3月3日の3回にわたって、「はじめてのルーブリック」についての講習会を実施し

(5) FD報告書の作成

令和4年に「令和3年度FD報告書」をHP上に公表する。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) 授業アンケート
 - ・令和3年度は、原則、前期は7/31(土)~8/12(木)、後期は1/7(金)~2/3(木)にアンケート実施期間を設定 した (両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。)
 - ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィー ドバックを行っている。
 - (2) 授業に関する学生・教員交流会
 - ・9学科(全学科)から選出した代表学生17名と、FD委員を含む教員8名が参加した。
 - ・「ZOOM授業を振り返ろう」「困りごとを共有しよう」「ピア・サポート制度について」の3つのテーマに

いて4つのグループでディスカッションを実施し、1チーム10分で発表を行った。

- (3) 授業公開
 - ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担 を

軽減し. 見学側の選択肢はこれまで通り確保(同学科でも他学科でも見学可能と)した

- ・見学方法はハイブリッド型授業の参加とし、Z00Mでの参観の場合はURLやパスワードを予め伝達した。 ・見学者は、のべ104名(教員97名、職員7名)であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。
- (4) 研修会

「はじめてのルーブリック」について、参加者は各回30名程度の参加であった。

(5) FD報告書の作成

令和4年に「令和3年度FD報告書」をHP上に公表する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコ メントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。昨年に引き続 き、授業開始の際、新規非常勤を中心に遠隔授業のサポート等を行っている。

また、研修会「はじめてのルーブリック」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけ を行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程(別添資 料2)に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個 人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) · 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。) 「該当なし」

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

- ② 審議状況
 - a 審議した内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況 「該当なし」

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域(学科)の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制(人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部)へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。 入学生確保については、令和2年度入試においては、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、 旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザ イン学科については歩留まりの読み違えから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。令和3年度入試においては、超過 是正を念頭におきつつ、入試選抜に取り組んだが、心理学科が歩留まりの読み違えから入学定員超過率が1.3を超えた。 一方で、食品開発学科、幼児教育学科、児童教育学科、社会情報デザイン学科の4学科で定員割れとなった。令和4年度 入試では、全学科における適正な入学定員の確保を目指して取り組み、入学定員超過は是正できたが、健康栄養学科、 幼児教育学科、児童教育学科、社会情報デザイン学科の4学科で定員割れとなってしまった。うち3学科は2年連続の定 員割れとなっている。引き続き、募集・広報戦略の見直しを行うとともに、対面での実施が再開したオープンキャンパ スの内容充実を図り、完成年度となる令和5年度の入学定員確保に向けて努めていきたい。

全学的なコア科目として設置した「コミュニケーション演習」は、学生の評価 (講師・授業内容) が非常に高く、また、短時間ではあるが半期毎日英語に触れることで「聞くこと」を中心とした英語運用能力の向上に役立っている。会話主体の授業形態であるため、コロナが完全に終息するまでは授業実施の方法も工夫が必要となるが、引き続き効果的なものとなるよう努めている。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期 令和4年11月までに公表予定。
 - b 公表方法

自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成しており、大学ホームページ上に公開予定。

- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和3年に日本高等教育評価機構の機関別認証評価を受審し、適合認定を得た。評価結果は大学ホームページ上で公開。
 - ・次回は、令和9~10年に同機構において受審予定。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	書(令和4年度)			
а	公表予定の有無	〔 有	· 無)		
≪ a b		[調査結果公 [ウェブサイ	表後 1 ヶ月以内 トへの掲載 ・	公表後2~3ヶ月以内その他(公表後3ヶ月以降)]
≪ a	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	ſ)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。